

愛労連第66回定期大会

付属文書

2023年度

■第1号議案付属文書②

愛労連 2022年度活動日誌（2021年7月18日～2022年7月23日）

写真で見る1年のとりくみ

主な新聞報道記事

愛労連2022年度活動日誌 2021年7月18日～2022年7月23日

会議・集会名称	日 時
愛労連第64回定期大会	7月18日
新議長就任記者会見	7月18日
第41期社保協第1回理事会	7月19日
あいち総がかり駅前宣伝行動	7月19日
A i 第1回事務局会議	7月20日
あいち総がかり作戦事務局会議	7月20日
春の自治体キャラバン事前学習会パート2	7月20日
第一交通をまともな会社にする会事務局会議	7月20日
A i 最賃早朝宣伝	7月21日
A i 労働相談全体会①	7月21日
ローカルユニオン定期総会	7月21日
A i 青年協幹事会	7月21日
原水協理事会	7月21日
労働会館納涼会	7月21日
75歳医療費2倍化させない集会	7月22日
年金者組合愛知県本部定期大会	7月23日
いのちまもる緊急アピール行動	7月23日
革新・愛知の会世話人会	7月24日
青年ネットA I C H I 「ジェンダー学習会」	7月25日
学習教育委員会	7月26日
A i 第2回事務局会議	7月27日
憲法共同センター事務局会議	7月27日
学習協常任理事会	7月27日
全労連第61回評議員会	7月28～29日
愛知地方最低賃金審議会・傍聴	7月28日
消費者大会実行委員会	7月28日
A i 四役会議①	7月28日
サマセミ・ブロック第6回実行委員会	7月28日
第4回愛知高齢者大会実行委員会	7月29日
秋の自治体キャラバン実行委員会	7月30日
424愛知共同行動第12回事務局会議	7月30日
第一交通争議・最高裁勝利・記者会見	7月30日
A i 女性協第32回総会	7月31日
第10回J M I T U愛知地方本部定期大会	7月31日
A i 女性協幹事会①	7月31日
五輪中止・延期を求める緊急スタンディング	7月31日
あいち平和のための戦争展30周年記念講演会	7月31日
三菱電機「パワハラ団交」報告会	8月 1日
革新愛知の会・シリーズ学習会②	8月 1日
原水爆禁止世界大会国際会議	8月 2日
A i 第3回事務局会議	8月 2日
原水爆禁止世界大会国際会議	8月 2日
社保協四役会議	8月 2日
国際人権活動愛知連絡会役員会	8月 2日
原水協平和の波・宣伝行動	8月 2日
第一交通中労委第8回調査	8月 3日
憲法共同センター運営委員会	8月 4～5日
春の自治体キャラバン	8月 4日
A i 第1回幹事会	8月 4日
第502回最賃審議会・傍聴	8月 5日
東海北陸ブロック第3回幹事会	8月 5日
最賃・宣伝行動	8月 6日
全労連労働法制闘争本部会議	8月 6日
原水爆禁止世界大会・広島大会	8月 6日
A i パ臨連幹事会	8月 6日
あいち九条の会事務局会議	8月 9日

会議・集会名称	日 時
革新市政の会総務代表世話人会	8月11日
革新県政の会常任幹事会	8月11日
機関紙宣伝学校実行委員会	8月11日
A i 愛労連・交運部会総会	8月11日
あいち・平和のための戦争展	8月12～15日
日本アクリル昼休み宣伝＋仮処分	8月16日
全労連・人勸学習会②	8月16日
A i 第4回事務局会議	8月17日
A i 交運部会行政交渉（名古屋市）	8月17日
A i 民間部会事務局会議	8月17日
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	8月17日
あいち総がかり行動運営委員会	8月17日
A i 青年協幹事会	8月17日
愛知共済会事務局会議	8月18日
安保破棄実行委員会常任幹事会	8月18日
原水爆禁止愛知県協議会8月理事会	8月18日
公務共闘人勸宣伝行動	8月19日
全労連総選挙勝利・単産地方代表者会議	8月19日
A i 第10回最賃公契約問題対策委員会	8月19日
革新あいち代表世話人会	8月19日
あいち総がかり行動駅前宣伝行動	8月19日
A i 交運部会行政交渉（愛知県、中部運輸局）	8月20日
公務関連民間労組名古屋市への申し入れ	8月20日
名古屋市厚生院を守る会	8月20日
第9弾コロナ問題なんでも電話相談会	8月21日
原爆パネル展	8月21～22日
映産労近藤孝氏の追悼会実行委員会	8月21日
A i 2021わくわく講座スクーリング①	8月21日
反貧困ネット総会・シンポ	8月22日
第503回最賃審議会・傍聴	8月23日
あいち九条の会事務局会議	8月23日
いのちまもる緊急行動早朝行動	8月24日
A i 第5回事務局会議	8月24日
愛知高齢者大会第5回実行委員会	8月24日
A i 第2回幹事会	8月25日
全労連幹事会	8月25～26日
第1回愛知労働者福祉共済会理事会	8月25日
秋の自治体キャラバン第4回実行委員会	8月26日
産業構造のあり方を問う作業部会	8月27日
A i 交運部会行政交渉（愛知労働局）	8月27日
原水協・財政部会	8月27日
サマセミブロック会議⑦	8月27日
第48回中央社会保障学校from名古屋	8月28～29日
愛知健康センター第31回総会	8月28日
A i 青年協・オンライン交流会	8月28日
国際人権活動愛知連絡会学習会	8月29日
東三河労連定期大会	8月29日
青年うたごえ交流会実行委員会	8月29日
憲法共同センター事務局会議	8月30日
第一交通弁護団会議	8月30日
総がかり作戦事務局会議	8月30日
A i 第12回ハローワーク前宣伝	8月31日
A i 第6回事務局会議	8月31日
全労連・地方労連事務局長会議事前打合せ	8月31日
J A L 解雇撤回愛知の会事務局会議（89）	8月31日
年金者組合総がかり作戦打合せ会議	9月 1日

会議・集会名称	日 時
日本アクリル支援昼休み宣伝＋本裁判傍聴	9月 1日
A i 四役会議	9月 1日
小学校休業等の要請（労働局・愛知県・名古屋市）＆記者会見	9月 2日
A i 交運部会行政交渉	9月 2日
A i 名古屋市内地域組織強化打合せ	9月 3日
A i 学習教育委員会	9月 3日
検数労連定期大会（メッセージ）	9月 4日
名中センター定期大会（メッセージ）	9月 4日
A i 第1回評議員会	9月 4日
A i 愛知県労働委員会の公正任命を求める学習決起集会	9月 4日
日本アクリル支援共闘会議⑭	9月 4日
青年うたごえ交流会実行委員会	9月 4日
第一交通をまともな会社する会事務局会議	9月 4日
医療・介護・保健所を本気で充実させる全国一斉蜂起0905	9月 5日
福保労東海地方本部定期大会（メッセージ）	9月 5日
パ臨連幹事会	9月 6日
A i 第7回事務局会議	9月 7日
社会保障秋の署名スタート集会	9月 7日
公務共闘・早朝宣伝	9月 8日
愛知県人事委員会への申し入れ	9月 8日
労働法制闘争本部会議	9月 8日
あいち総がかり行動運営委員会	9月 8日
A i 第3回幹事会	9月 8日
9の日宣伝	9月 9日
青年ネットスタッフ会議	9月 9日
A i 女性協幹事会	9月 9日
全労連秋の組織拡大交流集会	9月10日
生保裁判市民宣伝行動	9月10日
名張毒ぶどう酒事件名古屋高裁向け集中行動	9月10日
全労連女性部第32回定期大会	9月11日
憲法と平和を守る愛知の会宣伝	9月11日
第67回2021年愛知母親大会in尾張旭	9月12日
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	9月13日
A i 青年協幹事会	9月13日
原爆犠牲者を偲ぶつどい	9月13日
第41期社保協第2回理事会	9月13日
あいち九条の会第197回事務局会議	9月13日
A i 第8回事務局会議	9月14日
労働委員会に関する県知事要請＋記者会見	9月15日
安保破棄事務局会議	9月15日
革新あいち第9回代表世話人会	9月15日
A i 組織拡大推進委員会＋総がかり作戦	9月15日
原水協9月理事会	9月15日
名北労連第33回定期大会	9月15日
労働法制改悪反対実行委員会	9月16日
A i 民間部会役員会	9月16日
消費者大会実行委員会	9月16日
第一交通をまともな会社にする会街頭宣伝	9月16日
一宮地区労連定期大会	9月17日
革新愛知の会・学習会③	9月18日
全国一般愛知地本定期大会（メッセージ）	9月18日
地域経済の将来・第5回研究会	9月18日
プレサマセミ@オンライン交流会	9月19日
生活保護シンポ	9月19日
あいち総がかり行動集会＋デモ行進	9月19日
春のキャラバン意見陳述（知立市議会）	9月21日
A i 第9回事務局会議	9月21日

会議・集会名称	日 時
高齢者大会第6回実行委員会	9月22日
A i 第4回幹事会	9月22日
機関紙宣伝学校実行委員会	9月22日
働く女性の愛知集会実行委員会	9月22日
日本高齢者大会in長野	9月23日
消費税県議会請願提出	9月24日
原水協代表理事会	9月24日
総選挙、単産・地方代表者会議	9月24日
労働・生活相談スキルアップ講座①	9月24日
全労連青年部定期大会	9月25～26日
第15回日本アクリル支援共闘会議	9月25日
愛知共済会・第23回ハゼ釣り大会	9月26日
介護問題学習会	9月26日
国保学習運動交流集会	9月26日
生保裁判早朝宣伝行動＋昼休み宣伝	9月27日
革新県政の会予算要望書提出	9月27日
生活保護裁判・第3回控訴審＋報告集会	9月27日
J A L 解雇撤回愛知の会街宣	9月27日
A i 第10回事務局会議	9月28日
A i 労働相談全体会②	9月28日
千種名東労連定期大会（メッセージ）	9月28日
革新市政の会総務代表世話人会	9月29日
全労連SNS取り組み交流集会	9月29日
名南労連定期大会（書面開催）	9月29日
J R 懇談会	9月29日
新しいのち署名スタート学習決起集会	9月29日
424愛知共同行動実行委員会⑭	9月30日
第一交通をまともな会社にする会第5回総会	9月30日
A i ハローワーク前宣伝	10月 1日
A i 最賃改定日ビッグアクション	10月 1日
A i わくわく講座スクーリング②	10月 3日
全労連最賃運動交流会	10月 3日
建交労定期大会	10月 3日
憲法共同センター事務局会議	10月 4日
あいち総がかり行動事務局⑩	10月 4日
A i 第11回事務局会議	10月 5日
J R 東海の会	10月 5日
食農健と農民連の共同宣伝行動	10月 5日
秋の自治体キャラバン団長事務局長会議	10月 5日
パ臨連幹事会	10月 5日
全国一般・日本アクリル支援昼休み宣伝行動	10月 6日
全労連・地方組織事務局長交流集会打合せ	10月 6日
A i 四役会議	10月 6日
あいち九条の会第198回事務局会議	10月 6日
全労連労働法制闘争本部会議⑬	10月 7日
社保協四役会議	10月 7日
J A L 解雇撤回愛知・事務局	10月 7日
総選挙・要求実現早朝宣伝（金山駅北口）①	10月 8日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	10月 9日
全国青年のうたごえ交流集会in愛知	10月 9日
国民救援会愛知県本部定期大会	10月10日
共済拡大組織代表者会議	10月10～11日
A i 年金者総がかり作戦打合せ会議	10月11日
4野党への候補者一本化郵送要請	10月11日
第41期社保協第3回理事会	10月11日
中電新入社員労災認定裁判判決	10月11日
機関紙宣伝学校実行委員会	10月11日
国際人権活動愛知連絡会役員会	10月11日

会議・集会名称	日 時
A i 第12回事務局会議	10月12日
安保破棄事務局会議	10月13日
A i 機関紙編集委員会	10月13日
A i 第5回幹事会	10月13日
尾東労連定期総会（メッセージ）	10月13日
愛知共済会事務局会議	10月14日
革新あいちの会街宣＋代表世話人会	10月14日
第一交通をまともな会社にする会街頭宣伝	10月14日
A i 女性協幹事会	10月14日
A i 青年協・代表委員会	10月14日
労働委員会早朝宣伝行動①	10月15日
A i 学習教育委員会	10月15日
愛知国公定期大会（メッセージ）	10月16日
東海法労定期大会	10月16日
A i ボーナスゼロは差別です宣伝（労働会館周辺）	10月18日
介護アクション第1弾②	10月18日
あいち九条の会事務局会議	10月18日
総がかり作戦運営委員会	10月18日
衆議院議員総選挙公示	10月19日
秋の自治体キャラバン	10月19～22日
9の日宣伝	10月19日
あいち総がかり駅前宣伝行動	10月19日
A i 青年協幹事会	10月19日
国民春闘共闘委員会総会	10月20日
西三河労連定期大会（メッセージ）	10月20日
A i 組織拡大推進委員会＋総がかり作戦会議	10月20日
原水協10月理事会	10月20日
総選挙勝利を目指す単産・地方代表者会議③	10月20日
消費者大会実行委員会	10月21日
中村地域センター定期大会	10月21日
A i 総選挙・要求実現早朝宣伝行動②	10月22日
第29回サマセミブロック会議⑨	10月22日
港地区労2021年度定期大会	10月22日
全労連最賃学習会	10月22日
第10弾コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会	10月23日
東海労働弁護団第62回総会	10月23日
はたらく女性の中央集会	10月23～24日
国連軍縮週間・街宣行動	10月24日
労働法制中央連絡会総会	10月25日
介護アクション第1弾③	10月25日
A i 第13回事務局会議	10月26日
第一交通弁護団会議	10月26日
あいち総がかり行動事務局⑩	10月26日
秋の自治体キャラバン名古屋市事前学習会	10月26日
生保愛知連絡会役員会	10月26日
A i 第6回幹事会	10月27日
愛自交定期大会	10月27日
JAL解雇撤回愛知の会街宣	10月27日
第2回愛知労働者福祉共済会理事会	10月27日
東海北陸ブロック幹事会④	10月28日
A i 最賃公契約問題対策委員会②	10月28日
愛知春闘共闘委員会役員会①	10月28日
ハローワーク前宣伝	10月29日
憲法と平和を守る街宣A～C	10月30日
介護ヘルパーネット総会	10月30日
東海自治体問題研究所総会	10月30日
衆議院議員総選挙投票開票日	10月31日
全国介護学習交流集会	10月31日

会議・集会名称	日 時
非核平和行政要請（愛知県・名古屋市）	11月1日
A i 第14回事務局会議	11月2日
社保協四役会議	11月2日
A i 四役会議	11月2日
パ臨連・元気が出る集会＋金山駅北口スタンディング	11月3日
あいち九条の会「県民のつどい」	11月3日
A i 女性協と労働局との懇談会	11月4日
秋の自治体キャラバン(名古屋市)	11月4日
総がかり行動運営委員会	11月4日
A i あいち秋季年末闘争行動(名駅・伏見駅)	11月5日
電機・情報ユニオン定期大会	11月6日
地域経済の将来を考える会第6回研究会	11月6日
全労連非正規センター総会	11月6日
過労死等防止対策推進シンポ	11月8日
秋の自治体キャラバン(愛知県)	11月8日
国際人権活動愛知連絡会役員会	11月8日
知多労連第31回定期大会	11月8日
A i 第15回事務局会議	11月9日
9の日宣伝	11月9日
総がかり行動事務局会議	11月9日
安保破棄事務局会議	11月10日
第96回栄総行動	11月10日
第一交通残業代未払い裁判判決	11月10日
日本アクリル街宣＋本裁判、仮処分	11月10日
革新あいち代表世話人会	11月10日
A i 第7回幹事会	11月10日
労働委員会早朝宣伝＋署名提出	11月11日
ワンオペ問題記者会見＋県要請	11月11日
介護認知症なんでも無料電話相談会	11月11日
春の自治体キャラバン実行委員会⑥	11月11日
革新あいちの会常任代表世話人会	11月11日
機関紙宣伝学校実行委員会	11月11日
A i 女性協幹事会	11月11日
愛知共済会事務局会議	11月12日
第96回栄総行動・労働局交渉	11月12日
雇用によらない働き方対策交流集会	11月12日
憲法と平和を守る愛知の会・街宣A	11月13日
日本アクリル支援共闘会議⑩	11月13日
愛知食農健学習会	11月13日
厚生院を守る会シンポ	11月13日
日本母親大会in沖縄	11月13日
ドクター・ナース・介護ウェーブ	11月13日
愛知労問研・定例研究会⑪	11月13日
中部ブロック国公総会	11月13日
A i 青年協第32回定期大会	11月14日
機動隊派遣違憲訴訟勝利報告集会	11月14日
全労連労働法制闘争本部会議⑭	11月15日
A i 年金者総がかり作戦打合せ会議	11月15日
消費者大会実行委員会	11月15日
第41期社保協第4回理事会	11月15日
A i 愛労連民間部会事務局会議	11月15日
A i パ臨連幹事会	11月15日
革新県政の会と愛知県との懇談会	11月16日
秋のキャラバン実行委員会⑤	11月17日
全労連幹事会	11月17～18日
原水協11月理事会	11月17日
JR懇談会	11月17日
A i 秋の地域総行動	11月18日

会議・集会名称	日 時
労働法制改悪反対実行委員会	11月18日
第一交通未払い賃金裁判記者会見	11月18日
A i 第16回事務局会議	11月18日
天白地域センター定期大会	11月18日
原水協・財政部会	11月18日
あいち総がかり行動屋内集会	11月19日
サマセミ・東海北陸ブロック実行委員会⑩	11月19日
はたらく女性の愛知県集会	11月20日
第一交通をまともな会社にする会宣伝カー運行	11月20日
倉敷民商弾圧事件愛知の会総会	11月21日
A i 第8回幹事会	11月24日
安保破棄実行委員会総会	11月24日
A i 青年協幹事会	11月24日
全国一斉労働相談ホットライン	11月25日
労働委員会公正任命署名第3次提出	11月25日
革新あいち常任代表世話人会＋代表世話人会	11月25日
愛知春闘共闘委員会役員会①	11月25日
第22回あいち高齢者大会	11月26日
年金裁判口頭弁論	11月26日
全労連・地方組織事務局長交流集会	11月26日
A i 会計監査	11月26日
瑞穂区労連定期大会	11月26日
A i わくわく講座閉講式	11月28日
愛知争議団総会	11月28日
名張毒ぶどう酒事件愛知の会総会	11月28日
憲法共同センター事務局会議	11月29日
法律家3団体と共同センター会議	11月29日
憲法と平和を守る世話人会	11月29日
A i 労働相談全体会③	11月29日
A i 第17回事務局会議	11月30日
あいち総がかり行動事務局会議	11月30日
A i 組織拡大推進委員会	11月30日
消費税5%減税・県議会請願・陳情提出行動	12月 1日
青年ネットスタッフ会議	12月 1日
総がかり行動運営委員会	12月 1日
A i 四役会議	12月 1日
秋の争議総行動	12月 2日
全労連地方労連事務局長交流会総括会議	12月 3日
国際人権活動愛知連絡会総会	12月 4日
革新・愛知の会総会	12月 4日
2022国民春闘討論集会	12月 5日
A i 第18回事務局会議	12月 7日
あいち九条の会事務局会議	12月 7日
社保協四役会議	12月 8日
革新市政の会総務代表世話人会	12月 8日
母親全国連鎖行動・赤紙配布	12月 8日
A i 第9回幹事会	12月 8日
愛知共済会事務局会議	12月 9日
9の日宣伝	12月 9日
424愛知共同行動実行委員会⑮	12月 9日
A i 女性協幹事会	12月 9日
労働委員会不当任命抗議街宣	12月10日
県労働局要請（労働委員会不当任命抗議）	12月10日
第一交通をまともな会社にする会街宣	12月10日
東海北陸ブロック第5回幹事会	12月11日
東海北陸地方協議会・22年度総会in石川	12月11～12日
福祉削るな！秋の学習交流集会	12月12日
名護市長選挙勝利決起集会	12月12日

会議・集会名称	日 時
愛知共済会第10回共済学校	12月12日
日本アクリル支援共闘会議⑦	12月12日
全国一般アンセイ不当配転証人尋問	12月13日
A i パ臨連幹事会	12月13日
A i 機関紙編集委員会	12月13日
J A L 解雇撤回愛知の会街宣	12月13日
A i 第19回事務局会議	12月14日
革新市政の会2021年度世話人総会	12月14日
安保破棄愛知連絡会事務局会議＋街宣	12月15日
全労連第12回幹事会	12月15日
J R 懇談会と中部運輸局との懇談会	12月15日
消費税をやめさせる愛知連絡会事務局会議	12月15日
原水協12月理事会	12月15日
第5回はたらく女性の愛知県集会実行委員会	12月15日
第一交通中労委第9回調査	12月16日
A i 青年協幹事会	12月16日
春の自治体キャラバン実行委員会①	12月17日
労働法制闘争本部委員会⑮	12月17日
愛知春闘共闘委員会役員会②	12月17日
憲法と平和を守る愛知の会宣伝B	12月18日
第11弾コロナ問題なんでも電話相談会	12月18日
総がかり行動屋外集会＋パレード	12月19日
第41期社保協第5回理事会	12月20日
第52回消費者大会第9回実行委員会	12月20日
A i 第20回事務局会議	12月21日
憲法共同センター事務局会議	12月21日
総がかり行動事務局会議	12月21日
22春闘勝利・自動車デモ実行委員会①	12月21日
革新県政の会常任幹事会	12月22日
J R 懇談会からJ R 東海への要請書提出	12月22日
地域医療構想・愛知県との懇談	12月22日
A i 第10回幹事会	12月22日
第3回愛知労働者福祉共済会理事会	12月23日
消費税クリスマス宣伝行動	12月24日
A i 最賃公契約問題対策委員会③	12月24日
第一交通をまともな会社にする会事務局会議	12月24日
アクリル裁判支援裁判傍聴	12月27日
法律家3団体と共同センター会議	12月27日
総がかり行動運営委員会	12月27日
A i 第21回事務局会議	12月28日
第46回名古屋越冬突入集会	12月28日
A i 四役会議	1月 6日
大企業包囲春闘スタート宣伝（刈谷駅前）	1月 6日
第一交通弁護団会議	1月 6日
憲法共同センター事務局会議	1月 6日
中地域新年合同旗開き（メッセージ）	1月 6日
大企業包囲春闘スタート宣伝（名古屋駅前）	1月 7日
社保協四役会議	1月 7日
福保労2022春闘旗開き学習会	1月 7日
全労連・単産地域労連代表者会議	1月 8日
新春旗開き学習会	1月 8日
あいち九条の会事務局会議	1月 8日
第4回労働学校交流会	1月10日
女性協新春のつどい	1月10日
A i 第22回事務局会議	1月11日
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	1月11日
知多労連旗開き	1月11日
千種名東労連新春旗開き	1月11日

会議・集会名称	日 時
中川地域センター旗開き	1月11日
国民春闘共闘・単産地方代表者会議	1月12日
A i 第11回幹事会	1月12日
臨時大会リモート担当者会議	1月12日
尾東労連旗開き学習会	1月12日
愛知共済会事務局会議⑦	1月13日
総がかり行動事務局会議	1月13日
機関紙宣伝学校実行委員会	1月13日
全労連労働法制闘争本部委員会⑩	1月14日
労働法制改悪反対実行委員会	1月14日
全労連参議選に関する単産地方代表者会議	1月14日
原水協代表理事会	1月14日
救援会・争議団・自由法曹団新春のつどい	1月14日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	1月15日
生活保護裁判学習会	1月15日
愛知労問研・第22回定例研究会	1月15日
ケア労働者アクションキックオフ集会	1月15日
愛知県区労連臨時大会	1月16日
反核平和新春学習会	1月16日
第41期社保協第6回理事会	1月17日
消費者大会実行委員会⑩	1月17日
中村区合同学習交流会	1月17日
あいち九条の会事務局会議	1月17日
A i 第23回事務局会議	1月18日
生保裁判昼休み宣伝行動	1月18日
安保破棄事務局会議	1月19日
9の日宣伝	1月19日
秋の自治体キャラバン実行委員会①	1月19日
原水協1月定例理事会	1月19日
JAL解雇撤回愛知事務局会議（92回）	1月19日
憲法新署名スタート集会（総がかり行動）	1月19日
A i 青年協幹事会	1月20日
愛知健康センター理事会②	1月20日
憲法新署名キックオフ集会（憲法共同センター）	1月21日
愛知春闘共闘委員会第2回役員会	1月21日
自治労連県本部臨時大会	1月22日
A i 愛労連第65回臨時大会	1月23日
生保裁判早朝宣伝＋昼休み宣伝＋裁判傍聴	1月24日
全労連評議員会	1月24～25日
国際人権活動愛知連絡会役員会	1月24日
A i 労働相談第4回全体会	1月25日
愛知学習協2021年度理事会	1月25日
A i 第12回幹事会	1月26日
A i 学習教育委員会	1月26日
総がかり行動運営委員会	1月26日
第一交通第1回愛労委調査	1月27日
原水協・財政部会	1月27日
法律家3団体と共同センター会議	1月27日
A i 最賃運動推進意思統一会議	1月27日
総がかり行動講師要請学習会①	1月27日
新しいのち署名国会提出行動	1月28日
消費税各界連絡会＋街宣	1月28日
A i パ臨連幹事会	1月28日
東海北陸ブロック女性交流集会in静岡	1月29日
日本アクリル支援共闘会議⑧	1月29日
地域経済の将来を考える会第7回研究会	1月29日
農民運動愛知県連合会第34回定期大会	1月30日
東海北陸ブロック幹事会①	1月31日

会議・集会名称	日 時
A i 第24回事務局会議	2月 1日
A i 四役会議	2月 2日
消費者大会実行委・名古屋市要請	2月 2日
年金・労働法制2022署名スタート集会	2月 3日
愛知県中央メーデー第1回実行委員会	2月 3日
改憲を許さないキックオフ院内集会	2月 3日
第一交通裁判弁護団会議	2月 4日
第4回総がかり行動全国交流会	2月 4日
2・5争議支援決起集会	2月 5日
ローカルビッグアクション（議員要請行動）	2月 6日
A i 青年協・幹事会＋交流会	2月 6日
エッセンシャルワーカー緊急スタンディング	2月 6日
あいち九条の会第204回事務局会議	2月 7日
生保連絡会役員会	2月 7日
A i 第25回事務局会議	2月 8日
A i コロナ要請行動（労働局・県・名古屋市）	2月 8日
憲法と平和を守る会愛知の会世話人会	2月 9日
港地区労2022春闘学習決起集会	2月 9日
全労連・春の組織強化・拡大交流集会	2月9～10日
憲法共同センター事務局会議	2月 9日
A i 第13回幹事会	2月 9日
第一交通争議・中労委・第10回調査	2月10日
2.10最賃院内集会	2月10日
消費者大会実行委員会愛知県要請	2月10日
A i 女性協幹事会	2月10日
第43回トヨタ総行動早朝宣伝行動	2月11日
第43回トヨタ総行動大宣伝	2月11日
第43回トヨタ総行動・地域ピラ配布（豊橋・田原）	2月11日
「建国記念の日」不承認県民のつどい	2月11日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	2月12日
原水協・2022年定期総会	2月12日
愛知共済会事務局会議	2月14日
社保協四役会議	2月14日
国民大運動実行委員会総会	2月14日
コロナ何でも相談会事前打ち合わせ会議	2月14日
A i 機関紙編集委員会	2月14日
ケア労働者の大幅賃上げ実行委員会	2月14日
A i 第26回事務局会議	2月15日
第一交通をまともな会社にする会事務局会議	2月15日
愛労連・憲法講座①「労働法制」	2月15日
ブロックサマセミ実行委員会	2月15日
安保破棄事務局会議	2月16日
全労連提言グループ討議	2月16日
革新・愛知の会代表世話人会	2月16日
総がかり行動事務局会議	2月16日
第4回愛知労働者福祉共済会理事会	2月16日
春の地域総行動	2月17日
A i 最賃公契約問題対策委員会④	2月17日
尾中労連2022年国民春闘学習決起集会	2月17日
革新県政・市政の会合同政策委員会	2月18日
第12弾コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会	2月19日
総がかり行動屋外集会	2月19日
反貧困ネットシンポジウム	2月19日
愛知自動車デモ実行委員会③	2月20日
アクリル裁判昼休み宣伝＋傍聴	2月21日
A i 第27回事務局会議	2月21日
あいち九条の会第205回事務局会議	2月21日
最賃等紹介議員要請国会議員訪問	2月22日

会議・集会名称	日 時
A i 第14回幹事会	2月22日
革新県政の会常任幹事会	2月23日
三菱電機名古屋製作所門前宣伝	2月23日
424愛知共同行動第16回実行委員会	2月24日
憲法共同センター事務局会議	2月24日
全労連第13回幹事会	2月24日
第一交通・労働者委員との懇談	2月24日
最賃等紹介議員要請国会議員訪問	2月24日
消費者大会実行委員会	2月24日
A i パ臨連幹事会	2月24日
労働相談ホットライン	2月25日
消費税を止めさせる愛知連絡会事務局+街宣	2月25日
最賃等紹介議員要請国会議員訪問	2月25日
総がかり行動運営委員会	2月25日
全労連・青年春闘交流集会	2月26日
あいち九条の会結成17周年のつどい	2月26日
ロシアのウクライナ侵略反対抗議街宣	2月26日
2022春闘勝利愛知自動車デモ	2月27日
新婦人愛知県本部定期大会	2月27日
ロシアのウクライナ侵略反対抗議街宣	2月27日
消費税5%引き下げを求める請願署名陳情	2月28日
春の自治体キャラバン実行委員会	2月28日
日本原水協全国集会	2月28日
A i 第28回事務局会議	3月 1日
3・1ピキニデー集会	3月 1日
年金裁判傍聴	3月 1日
愛知国民春闘共闘委員会役員会	3月 2日
革新市政の会総務代表世話人会	3月 2日
法律家3団体と憲法共同センター会議	3月 2日
憲法共同センター・新署名推進オルグ	3月 2日
国会行動・いのちを守る中央大集会	3月 2日
A i 四役会議	3月 2日
3・2ケア労働者賃金上げろ全国大集会	3月 2日
A i 最賃審議会委員宣伝+申し入れ	3月 3日
青年ネットスタッフ会議	3月 3日
最賃等国会議員回り	3月 4日
全国一般日本アクリル支援共闘会議⑨	3月 5日
消費者大会講座「くらしの中の憲法」	3月 5日
憲法共同センター全国交流会	3月 5日
第二弾 ウクライナ侵略糾弾 抗議行動	3月 6日
ロシアのウクライナ侵略に抗議するデモ&集会	3月 6日
最賃等国会議員回り	3月 7日
ケア労働者賃上げ・自民党市議団長要請	3月 7日
A i 機関紙編集委員会	3月 7日
あいち九条の会第206回事務局会議	3月 7日
A i 第29回事務局会議	3月 8日
憲法と平和を守るあいちの会世話人会	3月 8日
3・8国際女性デー愛知県集会	3月 8日
A i 女性協幹事会	3月 8日
安保破棄事務局会議	3月 9日
9の日宣伝	3月 9日
A i 第15回幹事会	3月 9日
医労連みなと医療生協労組	3月10日
J M I T U 通信産業愛知分会スト	3月10日
ケア労働者処遇改善記者会見+スタンディング	3月10日
J M I T U 川本製作所支部スト支援	3月10日
2022国民春闘勝利愛知決起集会	3月10日
消費税を考える各界懇談会	3月11日

会議・集会名称	日 時
消費税問題等国税局交渉	3月11日
A i 第4回組織拡大推進委員会	3月11日
J A L 解雇撤回愛知事務局会議	3月11日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	3月12日
第22回あいち社会保障学校	3月12日
原発ゼロなごやアクション	3月12日
愛知労問研定例研究会	3月12日
愛知共済会事務局会議	3月14日
第41期社保協第8回理事会	3月14日
A i 第30回事務局会議	3月15日
革新県政の会・県政学習・各分野と地域の実態交流会	3月15日
春のキャラバン実行委員会	3月16日
愛労連・憲法講座②「憲法25条」	3月16日
平和行進実行委員会+原水協理事会	3月16日
全労連第14回幹事会	3月17~18日
424愛知共同行動第17回実行委員会	3月17日
郵政ユニオン3・18ストライキ突入集会	3月18日
総がかり行動総会+記念講演	3月19日
地域経済の将来・第8回研究会	3月19日
大迫労災認定裁判判決報告集会	3月19日
京都府知事選支援行動	3月20日
社会保険適用拡大問題学習会	3月20日
A i 第31回事務局会議	3月22日
愛知県中央メーデー第2回実行委員会	3月22日
A i 第16回幹事会	3月23日
A i 青年協幹事会	3月23日
あいち九条の会第207回事務局会議	3月23日
労働法制改悪反対実行委員会	3月24日
革新愛知の会代表世話人会	3月24日
A i 労働相談全体会⑤	3月24日
総がかり行動第17回運営委員会	3月24日
A i 公契約条例での豊川市との懇談	3月25日
A i 学習教育委員会	3月25日
なくせワンオペプロジェクト打ち合わせ	3月25日
A i パ臨連幹事会	3月25日
東海北陸ブロック組織拡大交流集会	3月26日
全国一般アクリル支援共闘会議総会	3月26日
東海北陸ブロック幹事会	3月26日
豊橋市・消費税増税反対ロングラン宣伝	3月26日
わが青春つきるとも事前学習会	3月26日
名張毒ぶどう酒事件決定報告・支援集会	3月27日
消費者大会実行委員会	3月28日
憲法共同センター事務局会議	3月28日
国際人権活動愛知連絡会役員会	3月28日
ケア労働者の賃上げ国会議員要請	3月29日
総がかり行動講師要請学習会②	3月29日
最賃公契約問題対策委員会⑤	3月30日
A i 第32回事務局会議	3月30日
A i 最賃公契約問題対策委員会⑤	3月30日
J R 東海ブロック会議	3月30日
エッセンシャルワーカー大幅賃上げプロジェクト会議③	3月30日
ブロック・サマーセミナー第2回実行委員会	3月30日
J A L 解雇撤回愛知の会定例宣伝	3月30日
消費税を止めさせる愛知連絡会	3月31日
消費税ロングラン宣伝行動	3月31日
参院選勝利に向けた単産地方代表者会議	3月31日
A i フレッシュヤーズ（新社会人）宣伝	4月 1日
全労連第18回労働法制闘争本部会議	4月 1日

会議・集会名称	日 時
法律家3団体と憲法共同センター会議	4月 4日
第5回安保破棄常任幹事会	4月 4日
生保連絡会第65回役員会	4月 4日
A i 第33回事務局会議	4月 5日
総がかり行動事務局会議	4月 5日
あいち九条の会第208回事務局会議	4月 5日
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	4月 6日
A i 四役会議	4月 6日
いま憲法審査会？4・7院内集会	4月 7日
全労連組織財政検討委員会	4月 7日
社保協第10回四役会議	4月 7日
春の自治体キャラバン実行委員会④	4月 8日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	4月 9日
A i 公契約条例での豊橋市との懇談	4月11日
第27回機関紙・宣伝学校☆春 実行委員会	4月11日
A i 第34回事務局会議	4月12日
A i 会計監査	4月12日
A i 学習教育委員会	4月12日
A i 第17回幹事会	4月13日
愛知総がかり行動運営委員会⑧	4月13日
単一協議会幹事会	4月14日
愛知共済会事務局会議	4月14日
424愛知共同行動実行委員会⑧	4月14日
青年ネットスタッフ会議	4月14日
A i 女性協幹事会	4月14日
愛知県中央メーデー実行委員会③	4月14日
A i 愛労連最賃デーアクション	4月15日
福祉削るな・春の学習交流集会	4月16日
革新愛知の会連続企画第1弾	4月17日
中央介護シンポ	4月17日
革新県政の会常任幹事会	4月18日
憲法共同センター事務局会議	4月18日
消費税を止めさせる事務局→街宣	4月18日
第41期社保協第9回理事会	4月18日
愛知健康センターと愛労連役員との懇談	4月18日
A i 機関紙編集委員会	4月18日
第一交通をまともな会社にする会事務局会議	4月18日
A i 第35回事務局会議	4月19日
9の日宣伝	4月19日
生保裁判昼休み宣伝行動+オルグ	4月19日
あいち総がかり行動集会+デモ行進	4月19日
A i 青年協幹事会	4月19日
第97回栄総行動	4月20日
革新愛知の会代表世話人会	4月20日
マイナンバー学習会+代表者会議	4月20日
A i パ臨連幹事会	4月20日
愛知国民春闘共闘役員会⑤	4月20日
ハラスメント学習会	4月20日
平和行進実行委員会+原水協理事会	4月20日
全労連提言グループ討議②	4月21日
A i 愛労連・憲法講座③「憲法9条」	4月21日
愛知健康センター理事会③	4月21日
全労連・地方組織事務局長交流集会&学習会	4月22日
春の自治体キャラバン事前学習会	4月22日
第13回コロナなんでも電話相談会	4月23日
第27回機関紙・宣伝学校☆春	4月23日
第一交通愛労委第3回調査	4月25日
消費者大会実行委員会	4月25日

会議・集会名称	日 時
河村市長に公約を守らせる抗議集会	4月25日
あいち九条の会第209回事務局会議	4月25日
J R懇談会	4月25日
A i 組織強化拡大・地域運動強化第1回検討委員会	4月26日
A i 第36回事務局会議	4月26日
A i 総がかり行動事務局会議	4月26日
A i 組織強化拡大検討委員会①	4月26日
A i 第18回幹事会	4月27日
第5回愛知労働者福祉共済会理事会	4月27日
A i 組織拡大推進委員会	4月27日
労災・損害賠償請求裁判報告集会	4月28日
アクリル爭議支援宣伝+裁判傍聴	4月28日
全国労働委員会対策会議総会	4月28日
原水協・財政部会	4月28日
J A L 解雇撤回愛知の会定例宣伝	4月28日
建交労・交運部会合同平和宣伝	4月29日
メーデー前夜祭	4月29日
愛教労定期大会（メッセージ）	4月29日
憲法と平和を守る愛知の会宣伝A～C	4月30日
革新愛知の会連続企画第2弾	4月30日
第93回愛知県中央メーデー	5月 1日
日本アクリル支援共闘会議②⑩	5月 2日
憲法施行75周年市民のつどい	5月 3日
総がかり行動デモ行進	5月 3日
愛知県原水協69行動	5月 6日
敬老パス署名スタート集会	5月 7日
福保労グリーンフェスタ	5月 7日
総がかり行動「ロシア・ウクライナ」学習会	5月 8日
9の日宣伝	5月 9日
憲法と平和を守る愛知の会拡大世話人会	5月 9日
A i 第37回事務局会議	5月 9日
9の日宣伝(平和委員会)	5月 9日
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	5月 9日
あいち九条の会第210回事務局会議	5月 9日
社保協第11回四役会議	5月10日
労働法制改悪反対実行委員会	5月10日
J M I T U オハラ爭議調査①→支援共闘準備会	5月10日
全労連第2回組織財政検討委員会	5月10日
サマセミ・ブロック第3回実行委員会	5月10日
A i 第19回幹事会	5月11日
ケア労働者の大幅賃上げ決起集会	5月11日
生保連絡会第66回役員会	5月11日
愛知総がかり行動運営委員会⑨	5月11日
A i 年金者総がかり行動打合せ会議	5月11日
春のドクターナース介護ウェーブ	5月12日
A i 女性協幹事会	5月12日
エッセンシャルワーカーの大幅賃上げプロジェクト	5月13日
憲法と平和を守る愛知の会宣伝	5月14日
A i 最賃スプリング・アクション	5月14日
革新愛知の会連続企画第3弾	5月14日
署名県民の会1周年記念のつどい	5月14日
第31回愛知解放運動無名戦士合葬追悼会	5月15日
第48回東海自治体学校	5月15日
A i 青年協幹事会+交流会	5月15日
沖縄県知事選勝利をめざす学習会	5月15日
全労連労働法制闘争本部会議⑨	5月16日
愛知共済会事務局会議	5月16日
憲法共同センター事務局会議	5月16日

会議・集会名称	日 時
社会保障運動推進団体共同記者会見	5月16日
A i 第38回事務局会議	5月16日
第41期社保協第10回理事会	5月16日
愛労連・憲法講座④「総論」	5月17日
安保破棄常任幹事会⑤	5月18日
最賃署名・国会議員提出	5月18日
全労連第15回幹事会	5月18～19日
あいち平和行進実行委員会+原水協理事会	5月18日
JAL解雇撤回愛知事務局会議	5月18日
全労連ジェンダー平等推進学習会	5月19日
革新愛知の会代表世話人会	5月19日
あいち総がかり行動集会・デモ	5月19日
労働審判員研修会	5月20日
秋の自治体キャラバン実行委員会①	5月20日
国際人権活動愛知連絡会学習会	5月21日
全労連・地域ケアユニオン交流会	5月21日
生活保護裁判愛知連絡会総会	5月21日
全労連女性部単産地方組織交流集会	5月22日
玉城デニー勝利に向けた沖縄と連帯する学習会	5月22日
消費者大会実行委員会	5月23日
あいち九条の会第211回事務局会議	5月23日
A i パ臨連幹事会	5月23日
A i 機関紙編集委員会	5月23日
コロナなんでも相談会相談員交流会	5月23日
A i 第39回事務局会議	5月24日
A i 労働相談全体会⑥	5月24日
愛知食農健T P P 街宣	5月24日
学習協常任理事会	5月24日
A i 第20回合宿幹事会（蒲郡荘）	5月25～26日
春の争議総行動	5月25日
総がかり行動事務局会議	5月26日
青年ネットスタッフ会議	5月26日
A i 最賃公契約問題対策委員会⑥	5月27日
全労連組織財政検討委員会③	5月27日
全労連提言グループ討議③	5月27日
地位協定の改定を求める署名スタート集会	5月28日
憲法と平和の守る愛知の会立憲野党街頭演説会	5月28日
愛知医療研究集会&スタンディング&ツイデモ	5月28日
東海北陸ブロックゆにキャン	5月29日
革新・愛知の会世話人会	5月29日
東海北陸ブロック幹事会②	5月30日
A i 第40回事務局会議	5月31日
第2回高齢者大会実行委員会	5月31日
第27回機関紙・宣伝学校☆春実行委員会③	5月31日
ワンオペやめろプロジェクト実行委員会	5月31日
A i 愛知学習教育委員会	5月31日
A i 四役会議	6月 1日
あいち平和行進あいさつ（岡崎市役所前）	6月 2日
愛知共済会 1 日事務局会議	6月 2日
ケア労働者賃上げに向けた自民党県議団への要請	6月 2日
愛知国民春闘共闘委員会役員会⑤	6月 3日
鉄道の安全とサービスの充実を求める利用者アンケート配布	6月 3日
ユニオンユースアカデミー2022	6月 4日
第21回全国一般アクリル争議支援共闘会議	6月 4日
愛知食農健第34回定期総会	6月 4日
平和行進・ピースフェスタinオアシス21	6月 5日
愛商連第74回定期総会	6月 5日
A i 第41回事務局会議	6月 7日

会議・集会名称	日 時
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	6月 7日
A i 組織拡大推進委員会⑤+総がかり調整会議	6月 7日
革新市政の会総務代表世話人会	6月 8日
革新県政の会常任幹事会	6月 8日
愛知総がかり行動運営委員会⑩	6月 8日
A i 第21回幹事会	6月 8日
国共病院労組・名城病院・東海病院スト突入集会支援	6月 9日
22 あいち平和行進（名古屋市役所前）	6月 9日
22 あいち平和行進（名古屋市・愛知県）要請	6月 9日
公正で自由な選挙申入れ行動	6月 9日
J R利用者アンケート配付行動	6月 9日
A i 女性協幹事会	6月 9日
憲法と平和を守る愛知の会街宣A	6月11日
第14弾コロナなんでも電話相談会	6月11日
第22回臨時幹事会	6月11日
A i 第2回評議員会	6月11日
敬老パス・地域交通拡充の署名活動	6月12日
春の自治体キャラバン（愛知県・名古屋市）	6月13日
A i ケア労働者の大幅賃上げ実行委員会	6月13日
第29回サマセミ・ブロック実行委員会④	6月13日
あいち九条の会第212回事務局会議	6月13日
A i 第42回事務局会議	6月14日
憲法共同センター事務局会議	6月14日
A i パ臨連幹事会	6月14日
A i 参院選に向けた緊急要請（共産党・国民民主党）	6月15日
秋の自治体キャラバン実行委員会②	6月15日
全労連第16回幹事会	6月15～16日
安保破棄常任幹事会⑦	6月15日
革新愛知の会代表世話人会	6月15日
平和行進実行委員会	6月15日
A i 青年協幹事会	6月15日
法律家3団体と憲法共同センター会議	6月16日
消費者大会見学講座	6月16日
424 愛知共同行動実行委員会⑨	6月16日
A i 参議院選挙に向けた緊急要請（社民党）	6月16日
A i 機関紙編集委員会	6月16日
消費税5%減税県議会要請	6月17日
消費税を止めさせる愛知連絡会事務局+街宣	6月17日
A i ケア労働者賃上げとアンケート結果の記者会見	6月17日
全労連参議院選挙勝利をめざす決起集会	6月17日
第一交通争議勝利報告集会	6月17日
非正規ではたらくなかまの全国交流集会in富山	6月18～19日
総がかり行動集会&デモ行進	6月19日
A i なくせワンオペ打合せ会議	6月20日
A i 参議院選挙に向けた緊急要請（自民党・公明党）	6月21日
アクリル争議裁判傍聴+街宣	6月21日
第41期愛知社保協6月理事会	6月21日
国際人権活動愛知連絡会役員会	6月21日
消費税大学学習会	6月21日
第93回愛知県中央メーデー実行委員会④	6月21日
A i 第43回事務局会議	6月21日
生保裁判昼休み宣伝行動	6月21日
JAL解雇撤回愛知の会定例宣伝	6月21日
A i 愛労連とふれあいユニオンとの懇談会	6月21日
第26回参議院選挙公示	6月22日
A i 第23回幹事会	6月22日
第6回愛知労働者福祉共済会理事会	6月22日
公務・公共業務交流集会	6月22日

愛労連2022年度 写真で見る1年のとりくみ



愛労連第64回定期大会
(日本ガイシフォーラム)
2021年7月18日



最賃引き上げ三の丸早朝宣伝
2021年7月21日



いのちまもる緊急行動(金山)
2021年7月23日



青年ネット AICHI
「ジェンダー学習会」
2021年7月25日



第32回女性協総会
2021年7月31日



春の自治体キャラバン
(武豊町)
2021年8月5日



原水爆禁止世界大会広島大会
(オンライン)
2021年8月6日



第9弾コロナなんでも相談会
2021年8月21日



わくわく講座スクーリング①
2021年8月22日



第12回ハローワーク前
調査活動
2021年8月31日



小学校休業等に関わる
要請&記者会見
2021年9月2日



愛労委労働者委員への公正任命
を求める学習決起集会
2021年9月4日



愛労連第1回評議員会
2021年9月4日



いのちまもる緊急行動
全国一斉蜂起（名駅）
2021年9月5日



あいち総がかり行動集会
（白川公園）
2021年9月19日



プレサマセミ
@オンライン交流会
2021年9月19日



最賃改定日ビッグアクション
（名駅）
2021年10月1日



アクリル爭議支援裁判所前宣伝
2021年10月6日



総選挙・要求実現早朝宣伝（金山）
2021年10月8日



パ臨連元気が出る集会
2021年11月3日



パ臨連・ボーナス差別 NG 宣伝
2021年11月3日



女性協愛知労働局要請行動
2021年11月4日



秋季年末闘争 11・5
全国統一行動（名駅）
2021年11月5日



秋季年末闘争 11・5
全国統一行動（伏見）
2021年11月5日



第96回栄総行動
2021年11月10日



愛知県労働委員会の
信頼取り戻そう
大村 公平中立な任命を
知事
2021年11月11日



「なくせワンオペ！プロジェクト」
記者会見
2021年11月11日



青年協第32回定期総会
2021年11月14日



秋の地域総行動
(中村地域センター学習会)
2021年11月18日



はたらく女性の愛知県集会
(講師：望月衣塑子さん)
2021年11月20日



組織強化と地域運動強化を
めざす学習討論集会
2021年11月21日



尾張東地域
非正規労働者ユニオン結成大会
2021年11月23日



第32回あいち高齢者大会
2021年11月26日



年金裁判報告集会
2021年11月26日



わくわく講座閉講式
2021年11月28日



2022国民春闘討論集会
2021年12月5日



全労連東海北陸ブロック
総会 in 石川
2021 年 12 月 11~12 日



憲法と平和を守る宣伝
(毎週土曜日実施)
2021 年 12 月 11 日



消費税クリスマス宣伝
2021 年 12 月 24 日



名古屋越冬活動突入集会
2021 年 12 月 28 日



2022 国民春闘スタート宣伝
(刈谷駅)
2022 年 1 月 6 日



2022 国民春闘スタート宣伝
(名古屋駅)
2022 年 1 月 7 日



新春旗開き学習会
(講師：水谷陽子弁護士)
2022 年 1 月 8 日



女性協新春のつどい
2022 年 1 月 10 日



愛労連第 65 回臨時大会
(日本ガイシフォーラム)
2022 年 1 月 23 日



ローカルビッグアクション・
議員要請行動
(牧義夫衆議院議員：立憲)
2022 年 2 月 6 日



第一交通争議・中労委
勝利和解
2022 年 2 月 10 日



第 43 回トヨタ総行動
(名古屋駅)
2022 年 2 月 11 日



トヨタ総行動（刈谷駅）
2022年2月11日



トヨタ総行動（東三河）
2022年2月11日



春の地域総行動
（みなと総行動）
2022年2月17日



春の地域総行動
（尾中学習会）
2022年2月17日



ロシアのウクライナ侵攻
反対抗議街宣
2022年2月26日



2022 春闘勝利愛知自動車デモ
2022年2月27日



3.1 ピキニデー集会
2022年3月1日



最賃審議会委員の辞任問題で
労働局要請
2022年3月3日



9の日宣伝
（毎月9日または19日に実施）
2022年3月9日



JMITU 通信産業本部・愛知支部
ストライキ
2022年3月10日



医労連みなと医療生協
早朝決起集会
2022年3月10日



ケア労働者処遇改善記者会見
2022年3月10日



2022 国民春闘勝利統一行動
名古屋駅宣伝
2022 年 3 月 10 日



憲法・平和と消費税を考える
学習交流会
2022 年 3 月 11 日



第 22 回愛知社保学校
2022 年 3 月 12 日



愛労連憲法講座②
2022 年 3 月 16 日



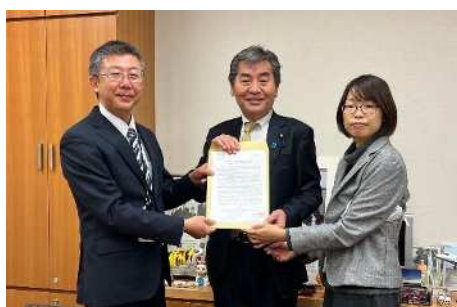
郵政ユニオンストライキ突入集会
2022 年 3 月 18 日



京都府知事選支援行動
2022 年 3 月 20 日



パ臨連社保適用拡大問題学習会
2022 年 3 月 20 日



ケア労働者賃上げ国会議員要請
(神田憲次衆議院議員：自民)
2022 年 3 月 29 日



フレッシュアズ宣伝(伏見)
2022 年 4 月 1 日



最賃ビッグアクション(名駅)
2022 年 4 月 15 日



第 27 回あいち
機関紙宣伝学校・春
2022 年 4 月 23 日



河村市長に公約を守らせる
抗議集会
2022 年 4 月 25 日



メーデー前夜祭
2022年4月29日



第93回愛知県中央メーデー
2022年5月1日



憲法施行75周年市民のつどい
2022年5月3日



最賃スプリングアクション
2022年5月14日



第48回東海自治体学校
(講師：保坂展人世田谷区長)
2022年5月15日



社会保障充実を求めて
共同記者会見
2022年5月16日



春の自治体キャラバン
(知多市)
2022年5月17日



生活保護裁判支援
愛知連絡会総会
2022年5月21日



TPP 宣伝
2022年5月24日



ケア労働者賃上げで
自民党県議団要請
2022年6月2日他



あいち平和行進
ピースフェスタ
2022年6月5日



医労連国共病組
名城支部スト支援
2022年6月9日



医労連国共病組
東海支部スト支援
2022年6月9日



愛労連第2回評議員会
2022年6月11日



名古屋ふれあいユニオンと
懇談会
2022年6月21日



最賃サマーアクション
2022年6月23日



非正規全国交流集会 in 富山
2022年6月25日



エッセンシャルワーカー賃上げ・
増員プロジェクトで参院選宣伝
2022年6月25日



パ臨第18回総会
2022年6月26日



最賃引き上げなどで
労働局要請
2022年6月30日



愛知最賃審議会傍聴
2022年7月1日



女性協第33回総会
2022年7月2日



女性協で育児介護休業法改正宣伝
2022年7月2日



パ臨連採用時給調査結果報告
記者会見
2022年7月14日

愛労連初の女性議長

定期大会 西尾さんを選出

県労働組合総連合（愛労連）の第六十四回定期大会が十八日、名古屋市南区の日本ガイシフォーラムで開かれ、新議長に初の女性となる西尾美沙子さん（五）を選出した。

西尾新議長は大学卒業

愛労連初の女性議長となり、会見する西尾さん（名古屋市南区で撮影）

後、民間の精神科病院に臨床検査技師として勤務。名古屋市天白区在住で、現在は五歳の息子の育児に励み



ながら県医労連の書記長を務めている。新型コロナウイルスス禍の現状に「ワクチン接種にも人手が必要で、医療現場は疲れて、仕事を辞めたいという従事者が増えてきている。命を守ることを最優先する労働運動

に取り組みたい」と語った。大会ではこのほか、秋までに予定されている総選挙での活動方針などをまとめた大会宣言を採択した。

（西田直晃）

しんぶん赤旗 2021年7月21日

政治転換へ役割果たそう

愛労連大会 共同発展を決意

愛労連（愛知県労働組合総連合）の第64回定期大会が18日に名古屋市内で開かれ、「大きな愛労連をつくり、労働者・国民が安心し

し、コロナ対策に力を

集中すべきだ」と訴えました。愛労連結成後、初めて最賃問題で連合愛知と話し合いが実現したことを紹介し、「全国一律時給1500円の実現に力をつくす」と強調。「総選挙で、市民と野党の共同を広げ、強権、暴走の政治を終わらせるために、労働組合として積極的に関わっていかう」と

呼びかけました。各労組から35人が発言。「コロナ禍で医療が危機的状況に追い込まれている。国の医療に対する公的責任の放棄が大きな要因。絶対に許せない」（医労連）、「仕事が激減し、運送会社の倒産が広がっている。新城市ではタクシー会社はなくなり、市民生活に重大な影

響が出ている。国民の交通権を守る取り組みをすすめる」（建交労）などの取り組みが論議されました。全労連の小畑雅子議長が来賓あいさつし、日本共産党の本村伸子衆院議員ら9人の国会議員のメッセージが紹介されました。新議長に西尾美沙子氏を選出しました。



最賃全国一律、1500円実現を求めて宣伝する愛労連の人たち＝6日、名古屋市

当事者の意見陳述を

愛知

愛労連は、愛知地方最賃審議会でいまだ意

見陳述が実現できていない問題の打開を目指す、非正規雇用の当事者に意見陳述させるよ

う訴えています。
全国一律最賃署名と地方審議会提出の署名をそれぞれ1万人以上から集約。労働局周辺や繁華街での宣伝に取り組んでいます。

しんぶん赤旗 2021年7月14日

大幅賃上げ・均等待遇を

愛知パート・臨時労組連総会

愛知県労働組合総連合（愛労連）パート・臨時労組連総会は11日、名古屋市内で第17回総会を開き、オンラインを含め35人が参加しました。

連絡会の平野正一代表幹事が「コロナ禍で解雇・雇い止めが全国で10万人を超え、大半はパートや臨時の非正規で多くは女性。均等待遇の実現、最低賃金大幅引き上げの運動を広げよう」と訴えました。

活動報告で、医労連役員は「加盟病院のい

くつかで臨時職員に結婚や葬儀などの慶弔休暇を勝ち取った。非正規の時給もアップしたが、清掃業務など時給1000円未満の職種もある。最賃大幅引き上げが必要」。名古屋

市立保育園のパート保育士は「市交渉を繰り返し、健康診断、夏季

休暇や一時金支給を勝ち取った」と運動の成果を報告しました。

福祉保育労役員は今年3月に非正規を対象に実施したアンケート

（回答113人）にふれ、一時金は「正規は

あるが非正規はないが62%」。慶弔休暇は「非

正規にない49%」。病

気休暇は「非正規は欠勤扱い43%」と報告

し、「正規と非正規の待遇格差は大きい。格

差是正へ運動を広げ

る」と強調しました。

総会に先立ち、上西

充子・法政大学教授が

「呪いの言葉」の解き

組合活動で解雇は無効

最高裁決定 鯨第一 交通の上告棄却

タクシー最大手「第一交通」グループの（林道晴裁判長）は、「鯨（じゃく）第一交通」（名古屋市中区）を相手取り、労働組合法を理由に一方的に解雇されたとして、労働組合が地位確認と賃金の支払いを求めた訴訟で、最高裁第三小法廷（林道晴裁判長）は、原告の訴えを一部認め、名古屋高裁判決を支持し、会社側の上告を退けました。決定は7月27日。

原告は、元社員で労働組合書記長の富田佳代子さん。富田さんは、労働者の権利を守ろうと2013年に労働組結成に参加。その後、組合員へのどう喝や嫌がらせが続き、精神疾患に追い込まれ、休職中に就業規則が定める1カ月の休職期間が満了したとして退職扱いにされました。

富田さんは、労働委員長とともに名古屋地裁に提訴しましたが、19年9月に請求を棄却され控訴。名古屋高裁は2月18日、富田さんについては、会社が長

期出勤した他の社員を退職させていないことや、組合からの脱退勧奨など不当労働行為を行っていたことから、労働組合員の排除が目的だったと推認される一として富田さんの解雇は無効と判断し、会社側に地位確認と未払い賃金・慰謝料の支払いを命じました。会社側が上告していましたが、

会」は30日、市内で記者会見し、連名の声明を発表し、「同様の不当労働行為に苦しみ全

国の労働者への大きなにやめ、労働法の順守希望になった。会社はと正常な労働関係の構築を求め、築を求め」と述べた。

朝日新聞 2021年7月31日

病氣休職後に解職「組合員の排除目的」

不当労働行為と判断 名古屋高裁

病氣で休職後に解職されたのは不当だとし、元社員で労働組合書記長の女性（65）がタクシー会社「鯨第一交通」（名古屋市中区）を相手取り、地位確認と賃金の支払いを求めた訴訟で、名古屋高裁（倉田慎也裁判長）は「解職は労働組合に対する嫌悪に基づくもの」として、原告勝訴の判決を言い渡した。

判決は2月18日付。最高裁は今年27日、鯨第一交通側の上告を退けた。同社の担当者は取材に「判決に従って対応する」とコメントした。

判決によると、女性は2015年10月に病氣で仕事を休み、就業規則に基づき16年1月に休職期間満了で解職された。判決は、同社が他の組合員らの雇用も打ち切っていることから「組合員の排除が目的と推認するのが相当」と指摘。解職は労働組合法の不当労働行為にあたり、無効と判断した。

（大野晴香）

加害者と別フロア実現

パワハラ事件 電機・情報ユニオン報告



基調報告する米田電機
・情報ユニオン委員長
（左）白、名古屋市長

電機・情報ユニオンは1日、三菱電機名古屋製作所で起こったパワハラ事件の是正を求める団体交渉の経過についての報告集会を名古屋市中で開きました。パワハラ被害者を加害者と別フロアで働けるようにするなど成果をあげています。

事件は、上司と癒着する取引業者の納入品

不具合対応の押し付け

などで、うつ病になっ

て休職した男性が、不

正を告発したところ、

会社側が「自殺に追い

込んだり構わない」な

どの暴言をあげ、

「追い出し部屋」に入

れるなどの扱いを行っ

たものです。

集会で米田徳治委員

長は、三菱電機が労働

者いじめで内部留保を

増やしていると指摘。

同社では不正検査も起

こっており「企業の持

続的発展のためには、

職場で自由なものが言

えることが重要だ」と

強調しました。

団交の状況について

成木彦朗愛知支部委

員長は、当初、会社側

が弁護士を立てて会社

役員は発言しないなど

の対応でしたが、やり

取りを続け、男性をパ

ワハラ被害者と別フロ

アにするなど前進が生

まれたと報告しまし

た。

当事者の男性は、

「会社のために不正を

告発したのに、追い詰

められた。三菱電機で

は自殺者も相次いでい

る。引き続き是正させ

たい」と述べました。

別の三菱電機グルー

プ企業の男性は、「罵

声を受け、うつ病で休

職を繰り返し、降格・

賃下げを受けた」と述

べ、ユニオンで団交予

定だと話しました。

リーマン・ショック

の際に三菱電機に「派

遣切り」された女性

は、「大企業に歯止め

をかけなければやりた

い放題になる」と、争

議解決を訴えました。



オンラインで署名提出する愛知県
医労連の役員ら＝13日、名古屋市

負担増大 看護師守って

愛知県医労連 国に署名提出

五輪中止も要請

愛知県医療介護福祉
労働組合連合会は13
日、コロナ禍で負担が
増大している看護師の
増員と労働条件の改善
を求める1万2128
人分の署名を三原じゅ
ん子厚生労働副大臣に
オンラインで提出しま
した。日本共産党の倉
林明子参院議員が同席
しました。

「スタッフが1人欠
けるだけで現場が立ち
行かなくなる医療機関
もある」として、医療
現場にさらなる負担を
かける五輪の中止・延
期を求める要請書も提
出しました。

署名提出にあたり現
場の看護師は、「発熱
外来をやっても、コロ
ナ患者を受け入れてい
ないと危険手当も出な
い。人手不足も深刻で

く時間を減らすことは
喫緊の課題だ」と訴え
ました。

三原副大臣は、「コ
ロナ禍で看護師が安心
して働き続けられる賃
金・労働条件の確保に
ついて、しっかり取
り組みたい」と話しま
した。

愛知県医労連は、4
月に「看護師の五輪
派遣は困ります」のハ
ッシュタグをつけて発
信するツイッターデモ
を開始し、51万ツイ
トを記録。5月25日か
ら「看護師まもろ
う」のオンライン署名
を集めていました。

#いまからでも 五輪中止を

ツイ ッター デモ13万超

全労連などが呼びかけて、18日午後5時に開始されたハッシュタグ「#いまからでも五輪中止を」を掲げたツイッターデモは、19日午後6時現在、13万ツイートをを超えて広がっています。

「今やるべきは五輪じゃないコロナ対策に全集中だ」「(感染拡大が) 本場に怖い」などの怒りや不安の声とともに、「まだ中止できます。諦めません」「政治が決断すればできる」と訴えています。

医師の男性は「数字に現れない多くの悲劇がまた生まれ得る以上、声をあげ続けるしかない」と強調。看護師の男性は、「何かあった後では遅い。いまからでも中止すべき」と訴えています。

俳優のラサール石井さんは、誘致の安倍首相のスピーチに始まり女性蔑視発言での森元首相の辞任、ずさんなコロナの水際対策などを挙げて五輪開催を問いかけています。

全労連などが呼びかけ

愛知県医労連は、18日に行った街頭宣伝の写真とともに「入院先がなく保健師は命の選別をさせられている。五輪強行では命が守れません」と強調。全国医師ユニオンは「このまま開催していいはずがありません」と訴えています。

全日本教職員組合は「今ならまだ止められます。夏休みを迎える子どもたちが安心して無事に過ごせますように」と呼びかけ。新日本婦人の会は5日目のスタンディングの動画とともに「熱中症危険情報が届くのにオリンピックってどういうことでしょう」と問いかけました。

日本共産党の志位和夫委員長は、「心から連帯します。命がかかっています。(検察庁法改定の際の) 何倍ものウェーブをつくり、五輪を止めましょう」と呼びかけました。

「#いまからでも五輪中止を」の横断幕を掲げる愛労連、愛知県医労連の代表らと小畑雅子全労連議長(愛知県医労連のツイッターアカウントから)

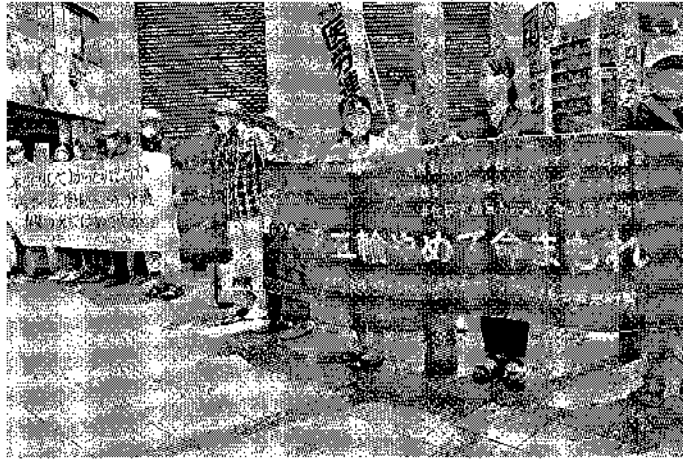


愛知

名古屋市中では、愛知県労働組合総連合と愛知県医療介護福祉労働組合連合会が、スタンディングデモを行いました。「五輪やめて命まもれ」の横断幕を掲げて参加者が次々とスピーチ。「そうだ」と声をかける人や、手を振って通り過ぎる人の姿がありました。

愛知県医療連の林信悟副委員長は、東京都の医療逼迫（ひっぱく）を指摘し「首都圏で感染が広がれば、その波はやがて愛知県にもやってくる。医療崩壊が押し寄せようとされているときに五輪をやっている場合ではない」と訴え、現場

「五輪やめて命まもれ」と訴える参加者。23日、名古屋市中



の看護師は「感染者が増えれば入院できる人、できない人の選別が行われる。救える命が救えなくなる。自分の問題として声を上げたい」と話しました。

ネットでも知り参加した女性（68）は「五輪で感染が爆発することは目に見えている。患者が入院できない状況がある中で五輪を開催している場合ではない。怒りの気持ちでいっぱいだ」と話しました。

愛知連の竹内創事務局長は、コロナ禍で生活が困難になっている人からの相談が増えていると指摘。「今政府がやるべきことは、これ以上感染を拡大させないこと、長引くコロナ禍で暮らしが成り立たなくなっている人たちの生活を支えることだ」と強調しました。

県内でも新型コロナウイルスの感染が記録的に拡大する中、生活が困窮したり職場でトラブルに遭ったりしている人たちが対象にした無料電話相談会が二十一日、全国一斉で開かれた。名古屋市内に設けられた会場にも相談が相次いで寄せられた。

コロナで生活苦 電話相談相次ぐ 愛知連などが開く

県内でも新型コロナウイルスの感染が記録的に拡大する中、生活が困窮したり職場でトラブルに遭ったりしている人たちが対象にした無料電話相談会が二十一日、全国一斉で開かれた。名古屋市内に設けられた会場にも相談が相次いで寄せられた。



コロナ禍で困窮する人たちのための電話相談。相談員ら名古屋市内で

からの電話を受ける四回線を用意し、弁護士ら二十五人が交代で対応。「会社からワクチン接種を求められるがアレルギーが心配」「妊婦でワクチンの接種を希望しているがなかなか打てない」といった相談に答えていた。

名古屋会場の運営に関わる県労働組合総連合（愛知連）によると、コロナ禍が長引き、最近では既存の支援制度を使い切った人からの相談が目立つ。竹内創事務局長は「高齢者からの相談が増えている。年金だけで生活が難しい人が、パートやアルバイトの仕事が無くなり、苦勞されている」と話した。

コロナ禍と女性の貧困 愛大教授が現状を解説

名古屋



コロナ禍で女性の貧困が深刻になっている現状を指摘する檜村教授
＝名古屋市熱田区の労働会館で

貧困問題に取り組む「反貧困ネットワークあいち」は二十二日、名古屋市熱田区の労働会館でシンポジウムを開いた。愛知大人文社会学科の檜村愛子教授が「コロナ禍と女性の貧困」

をテーマに講演し、構造的な問題を解説した。オンラインを含め三十五人が参加した。

檜村教授はコロナ禍で女性の貧困が深刻になった原因として、多くの女性が働

く飲食業や福祉関連など対人サービス業種が不況に陥ったことや、学校の休校や休講による育児や家事の負担増などを挙げた。「根本的には男性を稼ぎ手とする終身雇用制度のもとで、女性の非正規労働者が増え、雇用の調整弁になってきた経緯がある」と指摘。その上で「為政者が男女間格差是正の政策が世界水準から相当遅れていることを認識していない」と危機感を示した。

貧困の生活相談に応じる同市北区の「わっぱの会」による報告もあった。ドメスティックバイオレンス（DV）被害に遭い、夫と離婚できない母子家庭は、世帯単位の支援制度が弊害となり給付金を受け取れず、子どもの保育園の送迎で車を手放せなかったため生活保護も受けられないといった制度のはざまにいた事例を紹介した。（塚田真裕）

求職者ら「景気回復望む」

愛労連 コロナ禍受けアンケート



ハローワークを訪れた求職者らに暮らし向きや国への要望を聞き取る愛労連のメンバーら一名。名古屋市中区のハローワーク名古屋中庁舎前で

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う雇用への影響を調べようと、県労働組合総連合（愛労連）は三十一

日、名古屋市中区のハローワーク名古屋中庁舎前で、シール投票によるアンケートを実施した。

求職者ら十四人が回答し、暮らし向きが「大変苦しい」「苦しい」は合わせて六人だった。国や自治体に望むことでは、「景気回復・仕事の創出」が最多の六人、「医療・保険体制の強化」が四人だった。

竹内創事務局長（金）は「（インド由来の）デルタ株は子どもへの感染力も強く、保育園の休園などで困る保護者の声も寄せられている。安心して仕事を休めるよう労働者への新たな支援策が必要だ。早急に国会を開いて議論してほしい」と訴えた。（松野穂波）

休校時保護者助成を

愛労連 名古屋市に要望

新型コロナ

労働局や県にも同日提出した。【岡正勝】

県労働組合総連合（愛労連）は2日、保育所や学校の休園・休校を受け、仕事を休む保護者らへの助成制度創設を求める要請書を、名古屋市の河村たかし市長宛てに提出した。

子どもの世話で仕事を休まざるを得なくなり、収入が減って生活が困窮する保護者らへの助成を要請した。非正規労働者や自営業者なども給付対象にするよう求めている。

国による「小学校休業等対応助成金・支援金」の個人申請・給付型制度の復活を求めるよう市に申し入れ、フリーランスの適用対象化も要求した。放課後児童クラブの開所時間延長などに伴う経費援助も要請している。

同様の要請書を愛知

病院や保健所拡充へ 愛労連など街頭活動

県内8カ所で

県労働組合総連合（愛労連）などは五日、新型コロナウイルスの感染拡大により医療現場が限界の状態になっているとして、県内八カ所の街頭で病院や保健所の拡充を訴える緊急アピール活動をした。同日に全国で行われた「医療・介護・



保健所を本気で充実させる全国一斉蜂起0905」の一環。

愛労連に加盟する医療・福祉関係の団体や県民主医療機関連合会（愛知民医連）などが参加。名古屋・金山駅前では約四十人が横断幕を掲げた。写真。参加者は「医療現場は人が足りていない。病院や保健所を減らしてきたツケが出ている」と訴え、「命を守れ」「医療崩壊を立て直そう」と呼び掛けた。

出席者からはコロナの感染拡大が続く中、三日に突如退陣を表明した菅義偉首相への批判も相次いだ。愛知民医連の武田修三事務局長は「東京五輪の開幕後に感染が広がったという指摘が医療現場から相次いでいる。専門家などの意見を無視してきた菅首相が辞めるしかなくなったのは当然だ」と話した。

終わらせよう自公政権

戦争法6年で行動

安保法制(戦争法)の強行成立から6年となる19日、各地で戦争法廃止、政権交代を求める行動が取り組まれました。

この政治はもう限界！

名古屋

「もう限界！終わらせよう自公政権」。名古屋市内で

「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NOーあいち総がかり行動」が集会とデモを行



集会で「もう限界！」のバナーを掲げる参加者。19日、名古屋市中区

い、3000人を超える市民が怒りの声を繁華街に響かせました。

長峯信彦共同代表があいさつし、野党の臨時国会召集を拒否する自公政権に対し「明確な憲法違反であり、許しがたい行為」と糾弾。「もう限界！」と声をあげ、政治を変えよう」と話しました。

愛知視覚障害者協議会の寺西昭事務局長は「視覚障害者にとって、コロナ禍はまさに戦時。ソーシャルディスタンスも取れず、感染しても酸素飽和度も見られない。障害者が自分らしく生きていくために、力を合わせて自公政権を倒そう」。安保法制違憲訴訟の会弁護団事務局長の松本篤周弁護士が各地の訴訟を報告し、違憲の認否を避け続ける国を批判しました。

田善絃子弁護士が「野党共

闘をより大きなものにするために、選挙前から市民が立ち上がり、声をあげ続けていくことと呼びかけました。参加者はバナーを掲げ繁華街を練り歩きました。参加した女性には「本当にひどい政治。安倍自公政権に政権運営能力なし。野党を絶対に勝たせたい」と話しました。

毎日新聞 2021年9月21日

労働委任命巡り 県に要望書提出

愛労連

県労働組合総連合(愛労連)などは、労働争議の調停などにあ

たる県労働委員会の委員選任に偏りがあると、非連合委員や労働法学者などを任命するよう求める要望書を県に提出した。

愛労連によると、1989年以来、労働者を代表する労働委員について非連合系の推薦者が任命されることはないという。また、公益を代表する公益委員については、労働法に詳しい学者や弁護士が選出されていないという。愛労連の西尾美沙子議長は「偏った選任により労働者の現状を知らない委員が増えることで、愛労委を頼りにできず、救済申し立てをしないケースも増えてきている。労働者の駆け込み寺としての信頼を取り戻すために、公平な任命をお願いしたい」と話す。

【高井瞳】

「命守る」総選挙争点に

愛知新署名スタート集会



「新しいのち署名」を掲げ、総選挙の争点に押し上げようと呼びかける西尾氏。7日、名古屋市熱田区

愛知県内で医療や社会保障の改善へ向けた各種の署名を二斉にスタートする「いのち守る秋の運動・署名スタート集会」が7日、名古屋市内の会場とオンラインで結んで開かれました。「運動を交流し、励まし合って署名を集め、総選挙の争点にして政治を変えよう」と決起する場となりました。

医療・社会保障改善訴え

愛労連と愛知社保協、名古屋国保と介護の会の3団体が主催。各団体代表ら40人超が参加しました。澤田和男・愛知社保協副議長があいさつし、「首首相の無為無策のコロナ対応により、国民皆保険制度が

9人の団体代表が報告。愛労連の西尾美沙子議長は「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」（新しいのち署名）を推進する意義を述べ、「署名を広く呼びかけ、安心・安全な医療・介護・福祉体制の確保、保健所増設・保健師増員、75歳以上医療費2倍化中止の3項目を総選挙の争点に押し上げよう」と訴えました。

年金者組合の小室勲さんは「75歳以上医療費窓口負担2割化中止」署名を紹介し、「今でさえ重い医療費負担で受診控えがあり、重症化する事例が後を絶たない。一度実施されれば、国保や介護保険も雪崩を打って無制限に改悪されていく。選挙で政治を変えつつ、実施させない世論づく

りに全力をあげたい」と話しました。

敬老バスと地域交通拡充で元気な名古屋をつくる会の渡辺義巳さんは、4月の市長選で河村市長に敬老バスの回数制限大幅緩和を公約させたことを述べ、

「年間730回の利用制限撤回、交通不便地域の解消を求める運動をいっそう強化し、敬老バスを『名古屋市民の宝』としてさらに発信させていく」と表明。名古屋国保と介護の会の日下紀生さん

は、「名古屋の国保料は五大政令市で一番目に高く、一般会計からの独自繰入額は02年と比べ約3割に減少している。署名を活用し、保険料引き下げの世論をつくらう」と語りました。

トヨタ社員自殺 逆転勝訴

「この判決を心待ちにしていました」。トヨタ自動車で起きた男性社員（当時30）の自殺を巡り、上司のパワハラを認めた十六日の名古屋高裁判決。提訴から六年、労働災害の認定を求めてきた男性の妻は「がんばってきてよかった」と喜びを語り、日本を代表する大企業に「いろんな気持ちを抱える社員が働きやすい会社であってほしい」と望んだ。（豊田直也、北島忠輔）――〇面参照

「パワハラ相談できる会社に」



控訴審判決後、記者会見する自殺した男性の妻。16日午後、名古屋市中区の桜華会館で。

男性の妻 長い道のり11年

名古屋高裁の一号法廷に、古久保正人裁判長の声が響いた。「主文。原判決を取り消す」。逆転勝訴を告げる内容に、妻は信じられないといった様子で顔を両手で覆い、笑顔で弁護士と抱き合った。

判決後の会見では支援者から花束を渡され、「長い道のりで、今でも夫のことを思い出すと涙が出るが、あきらめずに戦い、今日の日を迎えられるうれしい」と喜んだ。

男性は自ら命を絶つ前、「自分はダメな人間だ」と悲しく思うほどひどい言われ方をされ、自信喪失になる」と明かしたことがあった。妻は労働組合に相談するよう勧めたが、男性は「そんなことをすれば会社にいらなくなる」と拒んだという。パワハラによる労災を認めた判決を受け、妻は「パワハラで悩む人が相談できる会社であってほしい」とトヨタに求めた。男性の死から十一年。この再発防止策を説明した。

労災認定新基準で高裁は判断

トヨタ自動車のパワハラ労災訴訟は、上司の度重なる叱責という同じ事実を認定しながら、一審と二審で正反対の結論を出した。

一審判決とも上司が週一回程度、他の従業員に聞こえるような大声で叱りつけたり、説明ができないうちに一方的に怒鳴ったりしたこと、フロア中央でさっし者のような状態で叱責したことなどを認定した。

だが、原告側の弁護士が「人格を否定する発言があったことは立証できなかった」と話すように、

一、二審で正反対の結論

具体的な発言内容を裁判で示すのは難しく、名古屋地裁はパワハラとは認めなかった。

これに対し、名古屋高裁は、「一審判決直前の昨年六月に厚生労働省が策定した新しい精神障害の労災認定基準を準用。上司の叱責はパワハラによるストレスが強い場合として挙げられている『態様や手段が許容される範囲を超える精神的攻撃』にあたる」と判断した。

叱責が約一年間にわたり反復、継続されていたことを重視し、

「その心理的負担は強いというべきだ」として結論を導いた。新基準を適用することについて、国側は控訴審で「策定以前の行為に適用すべきではない」と主張。だが高裁は「精神医学などの専門家が作成した報告書に基づいており、合理性がある」として新基準も参考にして、総合的に判断するのが相当とした。

逆転判決を勝ち取った水野幹男弁護士は「同じ被害者をなくさなければいけないという思いが伝わる画期的な判決」と話した。

通行人と時給や最賃など
対話―1日、名古屋駅前



時給955円以下は違法です

最賃改定 愛労連^なと宣伝

学生・若者と対話

「愛知県の最低賃金は今日から955円！下回ったら違法です」。名古屋駅前で1日、愛労連（愛知県労働組合総連合）など労組組合員30人が最低賃金改定を知らせ、時給シールアンケートを呼びかけました。

緊急事態宣言解除後で人通りも増え、学生や若者ら45人と対話しました。

この日から、愛知県の最低賃金が28円上がり、955円に引き上げられたことを、「知っていた」は18人、「知らなかった」は27人でした。

高校3年生は、最賃額を聞くと驚き、「バイトの時給は930円。下回ってるじゃないけど、もっとお金欲しい」。別の労働者は「時給に換算すると1200円ぐらい。1人暮らしで努力はして

に聞いてみる」と答えました。大学生は「時給960円ではほとんど最賃。最賃1500円にしてほしい」、別の学生も「もっと時給上がれば学費の足しになる」など切実な声が相次ぎました。

事務職の女性（18）は「正社員だけど、給料はすごく低い。実家だからなんとかやるけど、自分の趣味や1人暮らしもあきらめていく。生きてるだけでずいぶんお金が必要」。野党4党の共通政策には、時給1500円が掲げられています。総選挙で野党を伸ばし、政権交代を実現させ、1日8時間、週40時間働けば普通に暮らせる社会にしましょう」と訴えました。

竹内創愛労連事務局長らがリーディング。「私たちの調査では、日本全国どこでも若者が自立し、人間らしく生活するためには、時給1300円以上が必要」という結果でした。

機動隊沖縄派遣手続き「違法」

愛知県民側が逆転勝訴

沖縄県東村高江にある米軍北部訓練場のヘリコプター離着陸帯（ヘリパッド）移設工事の整備に愛知県警が機動隊員を派遣したのは違法な公金支出だったとして、愛知県民が大村秀章知事を相手に、派遣費用約一億三千三百万円を当時の県警本部長に請求するよう求めた住民訴訟の控訴審判決が七日、名古屋高裁であった。倉田慎也裁判長は「県公安委員会の審議を経ておらず、派遣決定の手続きは違法だった」と述べ、訴えを退けた一審名古屋地裁判決を変更し、大村知事に百十万円を請求するよう命じる逆転判決を言い渡した。

県公安委の審議経ず

また、工事現場の周辺で、反対派の車両を撤去するなどの警察の対応は法的根拠が乏しく「違法である疑いが強い」とも指摘した。

一方、大規模な抗議活動に伴う違法行為の予防や取り締まりのため、要請に応

邦堅志具を語る思いを受け審判控訴
7日、名古屋市中区で原告団長



愛知県警など六都府県から機動隊員が派遣された。訴訟では、当時の榎田好一本部長が愛知県公安委の承認を経ずに隊員の派遣を専決決裁したことと正当性が争われた。倉田裁判長は、高江への派遣は愛知県

公安委の事務規程に事前承認が必要と定められた「異例または重要」な事案に当たると指摘。「専決は違法だった」として、派遣された隊員に支払われた一六年七月十一月の時間外手当の約百十万円を違法支出と認めた。

原告らは一七年、派遣隊員の給与や手当を返還させるよう求めて提訴。昨年三月の名古屋地裁判決は、公安委には派遣について後日、報告されたことから訴は初めて。

高裁 反対派排除も問題視

名古屋高裁判決は、沖縄県の現場で行われた警察の反対派への対応にも言及し、「適法な範囲を超えた部分があり、必ずしも全て適正に行われていたと評価できない」と踏み込んだ。抗議活動で座り込んでいた参加者の強制排除やビデオ撮影、度重なる車両検問などを問題視した。

原告の一人で名古屋守山区の鍼灸師松本八重子さんは二〇一六年七月の暮、現場で座り込み抗議に参加した。「一人ずつ力づくで排除された。国家の暴力を感じた」といい、今回の判決を評価する。

沖縄県名護市出身の造形作家で原告団長の具志堅邦子さんは「裁判を通じて、遠く離れた愛知の人たちも沖縄の基地問題を深く理解し、連帯できたと思う」。大脇雅子弁護士は「警察を管理する公安委員会が空洞化している。判決は公安委の重要性を明確にし、歴史的な一石を投じた」と語った。

（角雄記）

生活保護訴訟の 経過や現状学ぶ

熱田でシンポ

生活保護の現状を理解するシンポジウムが、熱田区沢下町の労働会館であり、受給者の支援などに関わる五十人が参加した。全国各地で争われている生活保護費引き下げ違憲訴訟の経過説明や、新型コロナウイルス禍での生活困窮者の状況を語り合った。

訴訟は二十九都道府県で起こされ、引き下げを違法として処分を取り消した二月の大阪地裁判決を除き、札幌、名古屋、福岡、京都の四地裁では原告側が敗訴している。

十九日のシンポジウムには大阪弁護士団の清水亮宏弁護士がオンラインで参加。引き下げの根拠とされた物

生活保護費の引き下げに反対し、寸劇を披露する参加者。熱田区の労働会館で



価の下落率などに欠陥があるとした大阪地裁判決の要点を説明した。

このほか、保護費引き下げの反対派が違法性を訴える寸劇を披露。生活保護受給の相談・申請に携わる自治体職員がコロナ禍以降の状況を紹介し、「一日に三十件程度の相談が窓口に寄せられる。リーマン・ショックの時ほどではないが、困窮者を直撃している」と語った。

「要求実現へみんなで声をあげよう」と呼びかける労働組合員ら11月5日夜、名古屋駅前



「非正規にもボーナス」

名古屋駅前 愛労連が宣伝・対話

愛労連（愛知県労働組合総連合）は5日夜、2021年秋季末闘争勝利に向けて、名古屋駅前で街頭アピールに取り組み、「非正規もボーナスもらえませう」「あきらめないで、声をあげよう」と呼びかけました。全労連の全国統一行動に呼応したものです。

労働組合役員や労働者ら30人が参加。パブリックビューイングを利用し、職場の仲間から寄せられた「あきらめない、わたしの要求動画」を上映するなど、労働組合のたたく姿を多彩にアピールしました。

マイクリレーでは、4月から中小企業にも適用された「パートタイム・有期雇用労働法の活用や、それぞれの職場での要求などを訴えました。

名古屋市内の看護師（25）は、「過酷な労働環境に加えて人手が少なく、患者の思いに寄りそう余裕がない。コロナなど有事だけでなく、平時からの人員配置と待遇改善がなければ仕事を続けられない」と訴え、労働組合運動を紹介し、「非正規職員にもボーナスが支給されるが、安い人は千円しかない。増額に向けて運動を頑張りたい」と語りました。

名古屋市長の津田康裕委員長は、「コロナ対応で職員が休みなく深夜まで働いているのに、市は職員の定員削減方針を出している。市民サービス低下につながる、悩む職員も多い。1人でも2人でも人を増やしたい」。愛知国公役員は、「国家公務員は1980年代から3分の1にまで減っている。国は人減らしをやめて、公務員共サービス向上に努めるべきだ」と訴えました。

竹内創事務局長は、「ボーナスが、正規にあって非正規にないという違法になるが、声をあげなければ会社側は出さない」と口ぐちに話しました。



要求実現にむけデモ行進する
人たち＝10日、名古屋市中区

要求実現 世論広げる

名古屋米総行動 100人がデモで声

名古屋市中で「みんなの要求 みんなで実現」をスローガンに実行委員会方式で運動を展開する第96回米総行動が10日に行われました。市内の労働組合や市民団体、争議団から100人が参加し、集会・デモ・要請行動に取り組みました。「一人では実現できない要求でも、みんな

でいっしょにやれば実現できる」と1978年から続いている一日共闘の市民運動です。

昼休みには、繁華街、官庁街などから3

コースに分かれてデモ行進。中区・栄ひろばをめざして「コロナ解雇許すな」「中小企業守れ」「保健所を拡充し、医療従事者を守れ」などとコールし、昼休み中の会社員らにアピールしました。

集結集会で本田直子実行委員長があいさつし、「40年以上前から行動し、多くの争議解

決と市民要求が実現した。一方で未解決の問題や課題も多く残っている。労働者、市民の要求実現に向け、粘り強く運動しよう」と述べました。

「働くものが働きやすい職場環境と市民共通の要求実現を求めて、広範な労働者・市民と共同・連帯し、要求実現の世論と運動を広げる」との決議文を採択しました。

集会の前後に名古屋市中、東海農政局、三菱電機名古屋製作所、中部電力など13団体へ要請を行いました。

県内の高齢者、障害者施設

9割が職員1人で夜勤

県内の高齢者、障害者施設の約九割で、職員一人で夜勤をしているとするアンケート結果を、県医療介護福祉労働組合連合会（県医労連、名古屋市中）などがまとめ、「介護の日」の十一日、県庁で発表した。県医労連など三団体は「利用者の安全や介護の質に影響しかねない」として、複数の人員配置ができるように、県に対し、人材確保のための補助と、国に報酬の増額を働き掛けるよう求める要望書を提出した。

県医労連アンケート

アンケートには、県内を中心に、施設で夜勤をする職員二百七人が回答。それによると、平均で一カ月の夜勤回数は約六回、勤務時間は約十五時間で、休憩時間は約二時間半だった。ただ、「利用者の呼び出しが常にある状態で十分な休息が取れている」とは言いづらい」とアンケートの担当者は説明する。

記述式の回答では、一人夜勤で施設利用者に対応中、別の利用者が「転倒していた」「施設外に出ていった」など、複数の要望に応えきれず、事故に至りそうになった事例が寄せられた。一方、「何度も用事なくナースコールを鳴らす利用者を見たきそうになる」など、虐待につながりかねない事例もあった。

回答者の約七割が「仕事を辞めたい」とし、うち四割以上が理由（複数回答）

「健康や安全損ないかねない」

発表には、高齢者、障害者施設で働く職員も同席し、職員の心身の健康や、利用者の安全も損ないかねない実情を訴えた。写真。



に「夜勤がづらい」を挙げた。約七割は夜勤者の複数配置を望んだ。

人員配置基準は施設の種類で異なり、特別養護老人ホーム（特養）では、入所者二十五人以下に職員一人以上とされ、一フロアに一人で勤務する例が多い。障害者のグループホーム（GH）には基準はなく、夜勤

者を置かない施設もあるが、重度の人が暮らすGHでは夜勤者が欠かせない。

担当者らは「現行の基準では複数配置をすれば事業所は赤字になってしまう。一人夜勤にならざるを得ない。夜勤の負担から離職にもつながり、人手不足も解消されない」と指摘した。

名古屋市内の障害者施設では昨年十一月、一人で夜勤中の職員が急死し、翌朝、別の職員が出動するまで利用者の介助をできなかった事例があった。同僚だった男性（三）は「倒れた時の対応を利用者に期待できない。一人夜勤は何か起きると、すべて崩れてしまう危つきがある」と話す。

レ介助や落ち着かない入居者の相手をする。「管理者を通じて応援を頼むこともできるが、その見極めもプレッシャー」。心の病気で離職する同僚もあり、残された職員にさらに負担がかかるという。

同市内の認知症高齢者が暮らすGHで働く介護職員（四）は、午後十時前、翌日午前七時すぎまで、入居者八人を見る。夜中に施設の清掃などをしつつ、トイレ

同市内の障害者GH主任の塚本洋平さん（三）の夜勤は月八回。「職員の勤務表をつくる立場で少ないが、それ以外の職員は十回で、夜勤が連続することも。本来なら複数で利用者に対応することで支援の質も上がり、職員の気持ちにも余裕が出るが、職員が定着せず難しい」と明かした。

看護師・介護職員増員を

ドクター・ナース・介護ウエーブ

愛知

「看護師・介護職員の大幅な賃上げ、増員を」。愛知県の医労連、民医連、自治労連、社保協の4団体は13日、名古屋市中区で「ドクター・ナース・介護ウエーブ」を実施し、署名やヒラ配りなどでアピールしました。

労組役員、看護師、介護職員ら17人が参加。安心・安全の医療・介護・福祉提供体制の実現や介護保険制度の抜本的改善を求める署名を呼びかけました。1時間で37人が署名しました。

署名した看護学校2年の2人は「実習が少ない。コロナ禍で仕方がないけど、人の命にかかわる仕事にこんなので本当に働けるのか不安です。学校に行くのは週1回で、あとは

リモート。学べる環境がほしい」。若い看護師も「本当に現場は人が少ない。署名はその通り。もっと人を増やして」と語りました。通りがかりの女性(71)は「高齢化はこれから進む。看護師も介護士も削るんじゃないかと心配。増やして、すぐに治療できるようにして」と話しました。

参加者は順番にマイクを握り、「医療も介護も現場にはまったく人が足りていません。大幅増員で命と健康を守る医療・福祉・介護に」「介護は一人夜勤が多く、利用者の安全や職員の健康が危ぶまれている。制度見直しで、介護従事者の賃金水準を全産業水準まで引き上げよう」と訴えました。



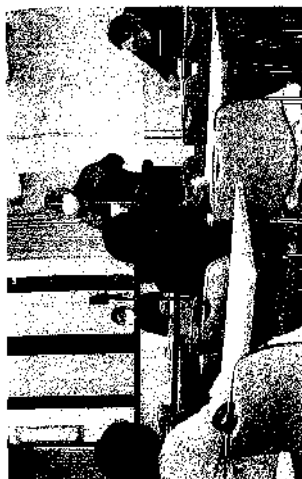
ナースウエーブで署名を呼びかける参加者＝13日、名古屋市中区

厚生院存続求め 集会、署名集め 市民団体が活動

市が二〇二七年度末で廃止の方針を示す医療複合施設「厚生院」(名東区)特別養護老人ホーム(特養)の存続を求める市民団体「市厚生院を守る会」が、市へ存続を要請する署名活動をしている。来年一月の提出を目指し十三日、熱田区の労働

会館本館で集会を開いた。厚生院は付属病院と特養、生活保護者向けの救護施設から成る。市は病院を市立大と、救護施設を別施設と統合する方針だが、定員三百人の特養は段階的に縮小し、二七年度末に廃止を予定する。県社会保障推進協議会(県社保協、熱田区)などは身元保証人がなく生活に困っている人、継続的な医療的ケアが必要

集会で厚生院特養
の必要性を訴える
参加者―熱田区の
労働会館本館で



な人らの受け入れ先がなく
なることを問題視し、九月
に同団体を立ち上げた。

集会には、医療・介護関
係者ら約二十人が参加。高
齢者らの身元保証をする団
体で働く女性は「身元保証
人がいなければ、申し込み
さえできない施設もある中
で、厚生院は建物は古いが
進歩的な役割を果たしてい
る」と指摘。ケアマネジャ
ーの男性は「多くの特養は
夜間に看護師はおらず、二
十四時間、医療が必要な人
を受け入れるのはまず無理
。その上、低所得だと入
れない施設が増えていると
いう実態を理解してほしい
」と訴えた。

署名用紙は県社保協ホー
ムページ＝QRコード＝か
らダウンロードできる。☎
県社保協＝〇五二(八八〇)

6921

技能実習生の保護要請

全労連が法務省・厚労省に

全労連の樽松佐一・外国人実習生SNS相談室長は30日、法務省、厚労省に対して、技能実習生からの相談が激増していることを指摘し、監理団体への

した飛行機代をベトナム人実習生本人に支払わせるとの相談が相次いでいます。

ベトナム人実習生が来日の際、多額の保証金を支払わされること



技能実習生の実態について会見する樽松氏(右側) 30日、厚労省内

が問題になっていますが、さらに実習の途中で追加徴収される事例も増加しました。

寮費についても、ワンルーム6万円程度が相場なのに狭いプレハブに3人相部屋で1人2万円、大部屋に2段ベッドで20人詰め込んで1人3万円など多額を支払わせる問題が多発しています。

会見で樽松氏は、「私ひとりで年70件の相談を受け、飛行機代を出さない事例が20件、保証金の追加徴収が12件もあった」と指

摘。アスベスト作業の安全教育を理解できない日本語でしか行わない実態を告発し、改善を訴えました。



切実な要求の実現を訴える
森谷氏＝8日、名古屋市中区

愛知県内の全自治体
を訪問して社会保険制
度の充実を求める自治
体キャラバンは8日、
愛知県と懇談し、「地
域住民の命と暮らし、
健康を守る自治体の役
割を発揮してほしい」
と森谷氏は「コロナが

社会保険制度の矛盾や
脆弱（ぜいじやく）さ
を明らかにしたのに、
政府はいっそう弱者を
切り捨てようとしてい
る。県民の命と健康を
守るため、切実な要求
を実現してほしい」と
訴えました。

導してほしい。高ず
る国保料（税）では
「昨年の所得がゼロ
で、今年もゼロだと国
保減免対象から外れ
る。コロナで営業でき
ず、本当に困っている
業者を救えない制度に
なっている。改善して
ほしい」「国保料（税）
を分納している世帯に
は資格証明書がなく、
正規の保険証を発行し
てほしい。コロナは災
害であり緊急事態だと
認識を持って取り組む
べきだ。子ども医療
費では、中卒までの通
院を無料にする自治体
が急速に増えているこ
とから県の補助基準を
引き上げ、全体を底上
げするよう要望しまし
た。

県担当者は「保険料
額は各市町村の判断で
あり、県は指導する立
場ではない」「所得ゼ
ロ世帯が対象にならな
い不公平な現状は把握
しており、国に情報提
供している」など冷た
い対応が続きました。

生活保護の中請で
は、県の回答が「扶養
照会を行わないことが
できる」となっている
ため、「あいまいな表
現でなく、国の方針通
り『基本的には照会し
ない』と明確な立場を
とるべきだ」として、
回答の訂正を求めまし
た。県は「福祉事務所
には国の通知通りに実
施するよう通知してい
る。回答内容は再検討
したい」と答えました。

命守る要望 実現訴え 自治体キャラバン 愛知県と懇談

75歳以上医療費倍化阻止へ

名古屋 あいち高齢者大会開く

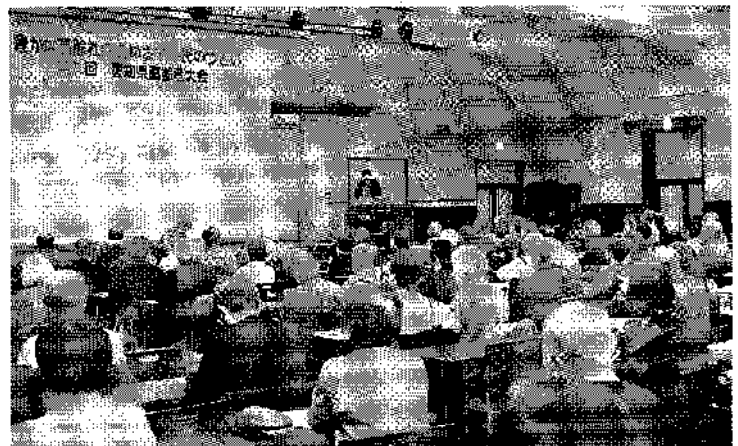
「75歳以上の医療費
2倍化中止を」―豊か
な高齢社会をめざす
「第22回あいち高齢者
大会」が26日に名古屋
市昭和区で開かれ、約
200人が参加しまし
た。年金者組合、愛知
社保協、愛労連などで
つくる実行委員会の主
催。コロナ禍で全体会
止の声を、広く国民
に訴えよう」と呼びか
けました。

実行委員長の丹羽典
彦・年金者組合愛知県
本部委員長があいさつ
し、「来年の参院選に
向け、高齢者のいの
ち、健康、人権侵害に
つながる75歳以上の
医療費窓口2倍化中
止の声を、広く国民
に訴えよう」と呼びか
けました。

長友薫三重短期大
学教授が、「全世代型
社会保障の改革と人権
としての社会保障のあ
り方」と題して記念講
演しました。

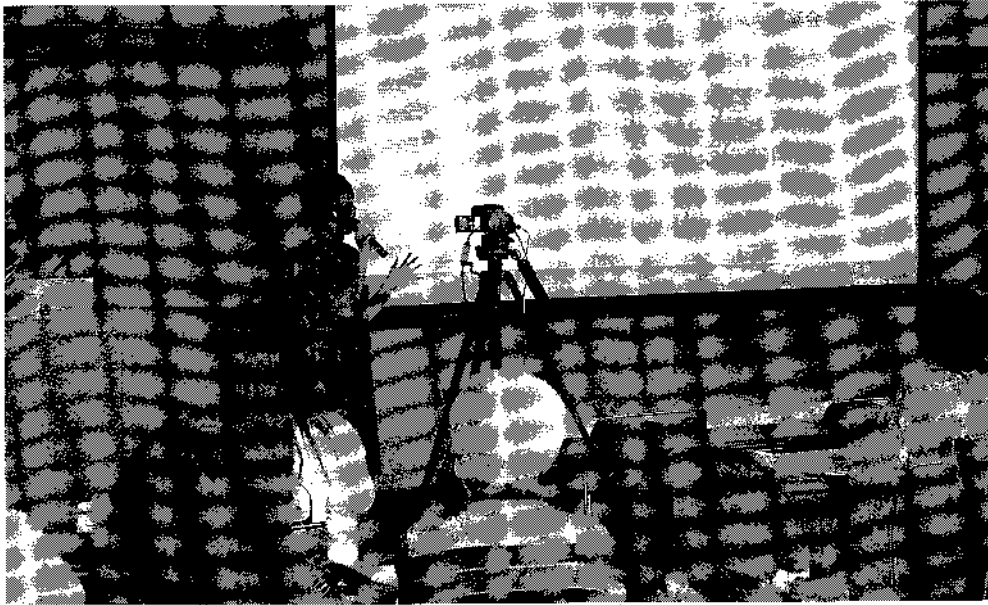
長友氏は岸田内閣が
設置した新しい資本主
義実現会議について解
めた「日本高齢者人権
宣言（第1次草案）を
紹介し、「『高齢者の人
権保障は権利だ』の声
をあげよう」と話しま
した。

小松民子・愛知県社
保協事務局長が行動提
起し、「自公政権の医
療費削減政策の転換、
75歳以上医療費窓口負
担2倍化中止へ、学習
や署名を上げよう」
―全ての世代に医療費
の窓口負担はゼロが世
界水準であると訴えよ
う―「高齢者の生活実
態調査を行い、生活実
態を訴えていこう」と
述べました。



豊かな高齢者社会をめざし開かれた
高齢者大会＝26日、名古屋市中区

憲法生きる社会実現しよう



はたらく女性の愛知県集会

「コロナ禍を乗り越え、憲法が生きる社会を実現しよう」。第51回はたらく女性の愛知県集会が20日、名古屋市内で開かれ、「ジェンダー平等、ハラスメント根絶、均等待遇、いのちとくらし、平和を守る女性の共同を」と題して交流しました。オンラインも含め120人以上が参加しました。

ジェンダー平等など活動交流

河合祐美子実行委員長（愛労連女性協議長）があいさつし、「女性の権利は何十年という歴史の中で勝ち取ってきた。単産・単組で学習会を重ね、地道な運動で少しずつ確実に前進させていこう」と話しました。

環境づくりも

活動交流では、医労連の女性が「病棟看護師へのアンケートでは生理休暇の取得がゼロだった。制度があるだけではダメ。制度の周知と取得しやすい環境づくりへ、女性の力を結集して運動を広げよう」と発言。

愛高教の女性は「組合で開いたLGBTQの学習会に参加し、当事者から話を聞いた。性別を問わず、みんなで学んでいくのが教育の原点。しっかり学び現場に

いかしていききたい」と述べ、愛知国公の女性は「公務員の不妊治療休暇の新設、非常勤職員の産前産後の有給化などが認められた。粘り強い長年の運動の成果。引き続き要求を掲げ運動したい」と表明しました。

連帯して声を

望月衣聖子・東京新聞記者が「マスメディアの現実―岸田政権とメディア・ジェンダー平等にむけて」と題して講演しました。東京五輪や総選挙、官邸などの取材を通じた経験を語り、「報道への官邸圧力は強い。権力側が隠そうとすることを明るみに出すことが私のテーマ。3月には記者も参加する官邸前デモが開かれた。多様な声を社会や政治へ届けるために、連帯して抗議の声をあげよう」と呼びかけました。

参加者は「男女ともに仕事も家庭も両立できるルールを確立しよう。一人ひとりが大切にされる社会、ジェンダー平等社会を実現しよう」と集会アピールを採択しました。

「ジェンダー平等社会にむけて」講演する望月氏。20日、名古屋市熱田区

労働委員 不当任命抗議

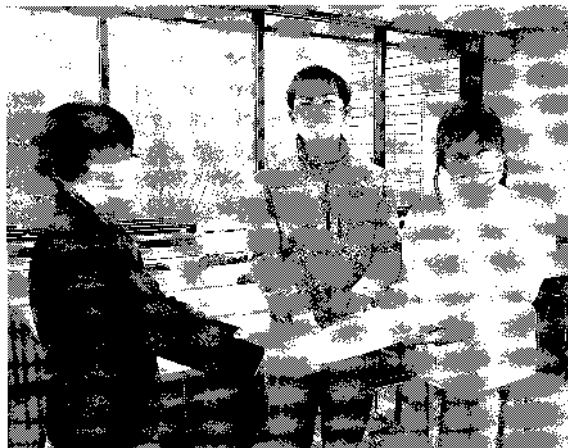
愛知県知事に3団体

愛労連（愛知県労働組合総連合）と名古屋ふれあいユニオン、東海労働弁護団の3団体は10日、大村秀章知事に対し、県労働委員会委員の不当任命（11月30日）に抗議し、公平中立な任命を求める要請をしました。愛知県労働局の橋本礼子局長

らが応対しました。

県労働委員会は公益・労働者・使用者の各7人（計21人）の委員で構成。労働委員は全員が「連合系」労組から選任され、6人が再任でした。中央と1都道府県では非連合の委員が選任されています。

愛労連の西尾美沙子議長、ふれあいユニオンの鶴丸周一郎委員長ら15人が参加。西尾氏は「組織の大小や系統・潮流にとらわれることなく、選任するのが労働組合法の趣旨。『連合系』以外の労働者・労働組合が救済申し立てを躊躇（ちゅう



橋本局長（左）に抗議文を手渡す（右から）西尾、鶴丸両氏＝10日、名古屋市中区

ちよ）する事態も生ま
れかねない。労働委員

会「求める」と訴えまし
た。不当労働行為を受け
ている当事者も参加し
「第一交通による組合
つぶしを愛労委は棄却
したが、名古屋高裁と
最高裁が覆した。誤っ
た調査や判断を行った
委員の再任もあり、選
任基準を明らかにすべ
きだ」「委員自身から
批判が出ているのに再
任ばかりで改善が見ら
れない。労働者を救済
する気があるのか疑
問」「労働法に精通し

た弁護士や学者が委員
にいないのは問題」な
ど抗議の声をあげまし
た。橋本局長は「選任は
総合的に判断したもの
であり、撤回する考え
はない」と冷たい対応
でした。参加者は、要請に先
立って県庁前で宣伝
し、「知事は、頼りにさ
れる労働委員会を取り
戻すための責任を果た
せ」と訴え、官庁街に
登庁する職員らにチラ
シを配布しました。

共闘の時代 会発展を

名古屋革新市政の会総会

共闘の時代にさむしり会
の発展へ意見交流する参加
者14日、名古屋市中区



名古屋市の革新市政の会は14日、総選挙で延期していた定期総会を市内で開きました。28団体も地域の33人が参加し、総選挙の結果や今後の展望など意見を交わしました。

早川純生代表(医師)は「野党共闘の時代にさむしり会の発展方向を明らかにしよう。若者たちに私たちの政策どう伝えるかも課題だ」と訴えました。

活動方針では①知事リコール署名促進、金メダル増(か)みやせクハラ発言など河村たかし市長による市政のゆがみをたどる②医療・福祉など市民要求実現に全力をあげる③2023年知事選にむけて革新市政の会と連携

して運動する一など提起。4月の市長選挙の総括案も提案されました。

討論では「敬老パスの利用回数制限撤回を求める署名運動が市長選の争点をつくり、河村市長は見直しを公約した」「市が廃止に動く厚生院は、医療・救護・介護を一体に提供する全国でも例のない施設。存続署名に全力をあげよう」「市は国保の低所得者の特別減免を自動的に適用することになった」など運動を交流しました。

日本共産党の石山孝一県書記長が「総選挙の結果と課題、野党共闘の展望」と題して報告しました。

春闘勝利へ労組宣伝

愛知

愛知県労働組合総連合（愛労連）と愛知県国民春闘共闘委員会は6日朝、アイシンやデンソーなどトヨタ自動車のグループ企業のオフィスや工場が多くある刈谷駅前で「2022年春闘」のスタート宣伝に取り組み、「すべての労働者に大幅賃上げを」と訴えました。

各労組から28人が参加し、大幅賃上げを求めるビラとティッシュのセットを配布。1時間の宣伝で1000部を配りました。日本共産党の山本シモ子、牛田清博の両刈谷市議、新村健

治前市議が参加しました。

各労組役員が通勤の人たちに訴え。愛労連の竹内創事務局長は「コロナ禍で女性や非正規労働者らの厳しい実態が明らかになった。大幅な賃上げ、底上げ、労働条件の改善が急務となっている。大企業の内部留保を活用すれば可能。誰もが人間らしく働き暮らせる社会めざし声をあげよう」。県医労連の池田幹人書記次長は「岸田内閣は病床再編統合を押し進めている。コロナ感染が急拡大し第6波が危惧される中、医療・社会保障の充実が急務」と強調しました。

ビラを受け取った女性（45）は、「介護施設に勤めている。介護現場は低賃金、人手不足で大変。自動車など大企業だけでなく、すべての産業、職種で大幅賃上げを実現してほしい」と話しました。

介護に生産性求めないで

全労連がツイッターデモ

全労連などの呼びかけで21日午後6時から「介護に生産性を求めないで」と題して人員配置基準緩和に反対する緊急ツイッターデモが行われました。

愛知県医労連は、介護現場で働く労働者が思いを書いたボードを手に発信。「いのち守



る医療・介護に経営台理化はダメ」「働き続けられる給料を下さい！」と訴えました。介護福祉士は「1対3配置の現在だって、利用者さんを見ていて心が痛むことがある。余裕がほしい。もっとこまやかなケアをしたい」。要介護3の母親

がいうという人は「年寄りは『物』ではない、感情を持った1人の人間です。生産性とは？理解できません」と書きました。ほかに「今朝も母

のヘルパーさんの丁寧な声かけに感謝しました。まめな声かけや向上を考える方が先です。介護される側にはこまやかな対応から温

もりが生まれます。温もりを感じられない介護は、介護される側もする側も不幸にする」などの声がありました。22日午後5時半現在で4万5000件のツイートがされています。

コロナ禍に逆行 処遇改善こそ必要

中央社会保険推進協議会山口一秀事務局長の談話 規制改革推進会議で出された「1人で4人介護」への規制緩和の検討は、過酷な現場の実態を無視し、ITを活用すれば人減らしができるという言語道断の考え方です。介護・福祉の現場があまりに余裕のない職員体制だったことがコ



ロナ禍の中で改めて浮き彫りになりました。にもかかわらず「1人で4人介護」になれば、少ない職員で多くの利用者を担当すること

が、大きくなり、人材確保をよりいっそう困難にするものです。介護現場からは、人員配置基準の緩和は職員の負担がさらに重くなり、サービスの質の低下を招くとの批判の声が上がっています。過酷な労働環境や低賃金が介護の離職を考

消費税減税 日本でも

クリスマス行動願い切々

サンタ登場 署名反響 愛知

消費税をやめさせる愛知連絡会は、消費税法の施行採決から33年となった24日、名古屋市中区で「消費税減税！クリスマス宣伝」に取り組みました。

サンタ衣装を着るみ姿の17人が参加。消費税

費税は低所得者ほど負担が重い、逆進性の強い税金。社会保障のためと導入したが、社会保障費は減り続けている「コロナで中小企業の経営は厳しい。赤字でも容赦なく納税させられる。当面5%にすべきだ」「コロナ禍で苦しむ国民支援、景気回復のため世界各国で消費税（付加価値税）の減税を実施した。日本でも減税を」と訴えました。

署名に応じた女性(74)は「年金だけの生活。食料など切り詰めている。

消費税が5%になれば少しはおいしいものが食べられる」。大学2年生は「飲食店のアルバイトの時間がコロナで減らされた。コロナ収束までバイト時間が増えそうになり。せめて消費税を下げてください」と話しました。



消費税減税署名に呼びかけの集まり
物産24日、名古屋市中区

エッセンシャルワーカーの処遇改善

愛労連、賃上げ求めデモ



街頭でエッセンシャルワーカーの賃金引き上げを訴える参加者
― 中区の金山総合駅北口で

県労働組合総連合（愛労連）は六日、中区の金山総合駅北口で街頭デモを開き、介護や障害福祉、保育、医療など暮らしの維持に欠かせないエッセンシャルワーカーの賃金引き上げによる処遇改善を求めた。愛労連に加盟する医療・福祉関係者ら八人が参加し、「仕事に見合った賃金と利用者を支える配置基準を」と書かれた横断幕を掲げて駅利用者らにアピールした。国は新たな補助金を通じ、今月分から介護職や保育士、幼稚園教諭らの賃金を3%程度（九千円相当）引き上げ、看護師も1%程度（四千円相当）増や

すと表明している。

参加者はこうした動きを歓迎する一方で「賃上げの対象となる人は一部でしかない」と強調。「コロナ禍の中、心身を擦り減らして奮闘している人の働きに見合った賃金が今こそ必要です」と訴えた。

通り掛かった四十代女性は春日井市内の介護施設で働く看護師。賃上げの対象外で「感染のリスクと隣り合わせの中で、人々の生活を守っているという自覚がある。働きが認められないのは残念」と話した。

（斉藤和音）

解雇・組合つぶし追及

全労連・全国一般が決起集会

解雇や労働組合つぶしを主導しながら団体交渉を拒否する発注元大企業や親会社、ホールディングス（持ち株会社）などの責任を追及しようと、全労連・全国一般と同東京地本、愛知地本は5日、東京都内で決起集会を開きました。

主催者あいさつで林博義全労連・全国一般本部副委員長は、「日本の労働者は、大企業によって買下げとともに権利も奪われている。

権利を取り戻し、人間らしく働ける社会にしよう」と呼びかけました。

各爭議の担当弁護士が報告。東京電力の電気メーター交換工事をする請負労働者は、労組を結成したら、東電から入札制度を次々変更され、報酬を減らされ、契約切りにあつたと告発しました。

日本アクリル化学は親会社の多国籍大企業ダウ・ケミカルの主導で工場閉鎖、組合員だ

け解雇されたと批判し、たたかっていると紹介しました。

法務局窓口業務の外郭団体の労働者でつくる民法労では、国の業務競争入札で大量の失職者を出した問題で、法務省とたたかい和解したことを報告。昭和ゴム労組では、ファン

ドが経営権を握り、組合員たちを子会社に転籍させて、本社は団体交渉を拒否しており、責任を追及していただきます。

講演した徳住政治日本労働弁護団前会長は、



発注元・親会社責任を追及してたたかう組合員たち（5日、東京都内）

は、「実際に企業を動かしているのは誰かを探し出して追及することが重要だ」と強調。団体交渉に応じる義務がある「使用者」の適用を、雇用主だけでなく、実権を持つ相手に幅広く認めさせてきた歴史を解説しました。

たたかう当事者たちが発言。全労連・全国一般学研教室支部の遠山幸子支部長は、「労働組合をつくったから、会社にも相手にされるようになった」と強調。本店経営者にコロナ解雇の撤回を求める東京美々卯分会の組合員たちは、「店を再開してお客様に喜んでもらいたい」と訴えました。

40歳社員 遺族と防止策合意

トヨ自動車の男性社員（当時實）が二〇一〇年に自殺したのは過重労働や上司からの嫌がらせが原因として、遺族がトヨタに損害賠償を求めた訴訟で、遺族側は三十一日、裁判外で和解に合意したと明らかにした。合意書では、トヨタが過重な業務と直属の上司からのパワーハラメントが原因だったと認め、一カ月以内に解決金を支払うことが盛り込まれた。金額は非公表。豊田章男社長は昨年十月、妻と代理人弁護士に面会して謝罪した。●核心③面、関連②面

和解は二十七日付。遺族報告することなども盛り込まれた。

訴訟を取り下げた。

合意書では、トヨタが安全配慮義務を尽くさず男性を死亡させた責任を認めて男性と遺族に謝罪すること、や関係者を処分したこと、再発防止に努め、取り組み状況を文書と口頭で遺族に

は、男性の妻(30)と長女(30)。トヨタ側が業務量や職場環境に配慮する義務を怠ったとして、計約一億千万円の損害賠償を求めた。

トヨタ側は業務と自殺

いた。

和解のポイント

過重な業務と直属の上司のパワハラが原因で、男性を死に至らせたことを認める

トヨタが安全配慮義務を尽くさなかったことで男性を死亡させた責任を認め、男性と遺族に謝罪する

社員の業務や健康の管理に全力を
尽くし、パワハラを防止し、再発を
防ぐ努力をすることを約束する

合意から5年間、再発防止策の取り組み状況を遺族に文書と口頭で報告する

被災者が死亡した労災認定申請事
案で、申請者に事実関係を明らか
にするように努め、労働基準監督
署の調査に協力する

合意締結後1カ月以内に解決金を支払う。

因果關係などについて争う構えを示していたが、昨年九月、遺族が国に労働災害の適用を求めた別の訴訟の控訴審判決で、名古屋高裁がバワハラが原因で自殺したと認定。判決が確定したことを受け、トヨタ側が態度を一転させた。

機などに従事。約十ヶ月に二、三回、同僚の前で大声で叱責されるなどし、うつ病と診断された末に二〇〇一年一月に自殺した。

記者会見した妻は「つらい気持ちの日々が続いた。将来、会社の仕組みを変えて

炭炭適用を認めた名古屋
高裁判決によると、男性は
新型ウイルスの部品を量産
するラインの立ち上げや中
国にある工場の生産準備業
述べた。

社長「隠蔽体質」掃する」

トヨタ自動車の豊田章男社長は、自殺した男性の妻が起こした労災認定訴訟で、妻側の逆転勝訴を言い渡した名古屋裁判決が確定した後の昨年十月、妻ら遺族側弁護士によると、高裁判決が確定した四日後の十月五日、トヨタ側の弁護士から妻側に和解の申し入れと豊田社長の面会要請があった。

と直接面会し謝罪した。豊田社長は「事件から十一年間放置されたのは社内の隠蔽体質による。隠蔽体質を一掃する」と述べ、男性の自殺原因の再調査と再発防止策の徹底を誓った。

同月十九日の早朝、愛知県豊田市内のホテルで豊田社長と小林耕士執行役員が妻らと対面。約一時間に及んだ面会で豊田社長は「社長就任以来、会社の隠蔽体質の改革に努めてきた

が、いまだ道半ば」と述べ、男性の自殺原因を調査する特別チームを編成して徹底的な再調査を約束した。その後の調査で、男性に対するパワハラがあったという当初把握できなかった証言を得ることができたため、同社は改めて妻らに調査結果を説明したという。

全国初の部活動教組

愛知全国組織立ち上げへ

教員の過重労働の原因として指摘されている部活動の問題に特化した教職員組合「愛知部活動問題レジスタンス」(IRIS)が愛知県で発足した。同組合によると、部活動問題に特化した組合は全国初という。東京、茨城、三重など全国に10の任意団体があり、今週中にも全国組織を立ち上げ、春闘に向け連携して課題に取り組む。

部活動は教育課程で定められた活動ではないが、実際は指導が現場の教員に委ねられ、長時間労働が社会問題化している。IRISは部活動の顧問を事実上命

じられ、拒否したくてもできない教職員への支援を活動の柱とし、管理職との交渉を代行。拒否したことが原因で不当な扱いを受けないようフォローする。

部活動を巡っては、文部科学省が教員の負担軽減を図ろうと2023年度から土日や祝日の活動を学校管理下から外し、段階的に地域のスポーツクラブなどに運営を委ねていくことになっている。【太田敦子】

18日に名古屋市内で記者会見した組合代表で一宮市立小教諭の加藤豊裕さん(43)らは「部活動が誰かの犠牲の上に成り立っていることに目を向けるべきだ」「部活動をやりたくない人はやらない選択権を確立したい」などと話した。

愛知県内の小中学校や高校、特別支援学校などに勤

中日新聞 2022年1月20日

部活動顧問 負担軽減を

全国初 教職員組合「アイリス」結成

部活動の顧問を引き受けるかどうかを、教職員が自由に選択できるような職場環境を目指す組合「愛知部活動問題レジスタンス」(略称・IRIS、アイリス)が結成された。組合によると、部活動を巡る諸問題に特化した教職員組合の発足は全国初という。現組合員は十人前後。昨年十一月、県の職員団体の登録を受け

ており、全国組織の設立も視野に入れる。組合は、本人の意思に反して部活動の顧問を引き受けざるを得ない場合、管理職との交渉を代行する。顧問を拒否する方法や法的知識などの学習会の開催、顧問拒否後に不当な扱いや不利益を受けた時は、管理職や教育委員会に申し入れをする。

部活動問題に特化した教職員組合の結成を説明する加藤代表＝県庁で



既にスポーツ庁や日本中学校体育連盟などへの申し入れ、県教委との交渉や請願提出などの活動を展開している。

部活動を巡っては、顧問

の教員が放課後や週末に部活動に時間が割かれ、過重労働につながる実態が社会的に問題視されている。十八日に県庁で記者会見した一宮市萩原小学校教諭の加藤豊裕代表(43)は「本格的に取り組むには、社会に認知してもらう必要がある」と結成の目的を説明。真野祐希事務局長(35)も「顧問をやりたくない人は、やらなくてもいい」という当たり前の拒否権の確立は、多くの人が納得してくれると思う」と話した。

(梅田歳晴)

再審求めて街宣活動

名張毒ぶどう酒 名古屋で支援者

1961年に三重県名張市で女性5人が死亡した名張毒ぶどう酒事件で、無罪を訴えながら収監先で死亡した奥西勝・元死刑囚の特別面会人を務めた稲生昌三さん(82)ら支援者50人が14日、名古屋市の金山総合駅南口で、再審開始決定を求める街宣活動を行った。

参加者はプラカードで訴えるとともに、通

支援者らによる「全国の会」などが主催。14日は奥西元死刑囚



支援者らがプラカードを手に再審開始決定と奥西元死刑囚の名誉回復を訴えた一名古屋市の金山総合駅南口で

行人にチラシを配布。稲生さんは「きっといい結果が出る。一日も早く再審開始決定を勝ち取ろう」と呼びかけた。

【道永竜命】

毒ブドウ酒事件 再審開始を訴え

名古屋で支援者ら

1961年に三重県名張市で起きた名張毒ブドウ酒事件で、奥西勝元死刑囚の誕生日に合わせ14日、金山駅前(名古屋市内)で支援者



奥西勝元死刑囚の再審開始決定を訴える支援者ら 金山駅前

らが再審開始を訴えた。「早期に再審開始をおこない奥西勝さんの名誉回復を」。支援者ら約50人がパネルを掲げ、通行人に呼びかけた。

現在、名古屋高裁で第10次再審請求の異議審が続いている。「えん罪名張毒ぶどう酒事件・愛知の会」の田中哲夫事務局長によると、誕生日に合わせた活動は奥西元死刑囚が89歳で死亡した翌年の2016年以来という。田中事務局長は「裁判所は新証拠を虚心坦懐に見つめ、納得のいく判断をしてほしい」と話した。

トヨタ巨利労働者・下請けにまわせ

愛知各地で総行動実施

「コロナ禍だからこそ大
幅賃上げを」「内部留保を
」。第43回トヨタ総行動が

「コロナ禍だからこそ大
幅賃上げを」「内部留保を
」。第43回トヨタ総行動が

11日、愛知県内各地で取り
組まれ、コロナ感染対策を
おこなうなか約200人が
参加しました。

トヨタなど大企業のオフ
イスビルが並ぶ名古屋駅前
では約100人が参加し、
「トヨタは儲けを労働者と
下請けにまわせ」と書いた
横断幕を掲げ、春闘方針
を紹介したビラ入りティッ
シュを配りました。愛知県
労働組合総連合（愛労連）
などをつくる実行委員会主
催。

日本共産党の本村伸子衆
院議員が駆け付け連帯の訴
えをしました。

西尾美沙子・愛労連議長
が「大企業の内部留保は4
66兆円。トヨタは27・2
兆円もため込んでいる。こ
ろそ地域経済を元気にす
る」と訴えました。



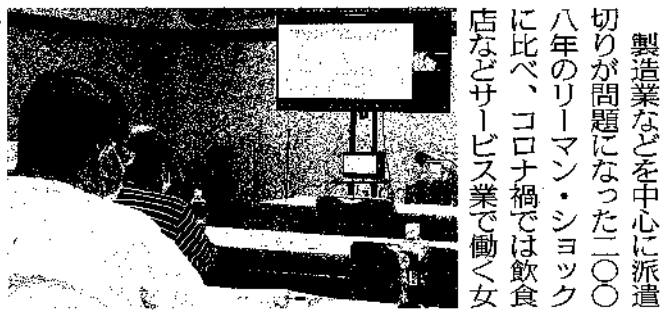
内部留保
27.2兆円 トヨタは儲けを
労働者と下請けにまわせ

「コロナ禍だからこそ大幅賃上げを」と訴える（左
から）前田、西尾、本村の各氏＝11日、名古屋駅前

中日新聞 2022年2月20日

非正規で働く女性
コロナの影響紹介
熱田で貧困問題シンポ
貧困問題に取り組む「反
貧困ネットワークあいち」
は十九日、熱田区の労働会
館でシンポジウムを開い
た。ビデオ会議システム
「Zoom（ズーム）」を

用いて、労働問題に詳しい
ジャーナリストの竹信三恵
子さんが「コロナ禍におけ
る女性・非正規の貧困」と
題して講演した。



ズームを使ったシンポジウム
で、貧困問題を考える参加者
ら＝熱田区の労働会館で

性が大きな影響を受けた。
特に非正規の割合が高いシ
ングルマザーは、一斉休校
などの影響で仕事ができな
いなど深刻な事例があった
という。

竹信さんは「パートは
家計の補助で、夫がいるか
ら大丈夫」との発想があ
り、支援が十分でない」と
指摘。女性の労働はすでに
家計の補助ではないとして
「女性の待遇が見直されな

いと、労働者全体の分配が
下がる。女性の貧困は男性
を含めた社会全体の貧困を
生む」と話した。

北区の「わっぱの会」など
支援団体による活動報告も
あり、家族への照会などが
ネックとなって、生活保護
の申請をためらう女性がい
ることなどが紹介された。
シンポジウムには会場の来
場者のほか、ズームを通じ
て約四十人が参加した。

生活苦の声 耳傾けて

名古屋高裁 年金裁判で原告

愛知・三重両県の年金受給者358人が年金減額処分(2013年)は憲法25条違反だとして、国を相手どり、処分取り消しを求めた「年金裁判」の第2回口頭弁論が名古屋高裁(土田昭彦裁判長)で開かれました。車いすで生活する男性(91)が陳述し、月6万円ほどの国民年金で生活している実態を告発。「立っていることができず、手もあまり動かない。デイサービスや配食サービスを利用しながら、何とかやりくりしている。年々高くなる介護保険料も重くのしかかり、健康で文化的な最低限度の生活とは程遠い生活を送っている」と訴え、「血も涙もない年金引き下げに、一審で憲法違反の判断を下さなかった裁判所に怒りを感じる。控訴審で

は、苦しい生活を送らざるをえない高齢者の声に真摯(しんし)に耳を傾け、まっとうな判断をしてほしい」と話しました。

裁判後、年金者組合愛知県本部が報告集会を開き、原告・支援者ら80人が参加。渥美雅康弁護団長は「国際人權規約は国内法にも法的効力があり、裁判所はそれに基づいた判断をするべきだ。引き続き、証人申請や意見書

を出していく。裁判所に公正な判断を求める運動をともにすすめてう」。原告団長で年金者組合県本部前委員長の伊藤良孝さんは「裁判が全国で大詰めを迎えている。国のやりた放題に追従する司法でいいのか。私たちの運動で世論をつくりあげ、勝利を勝ち取る」と呼びかけました。

利用しながら、何とかやりくりしている。年々高くなる介護保険料も重くのしかかり、健康で文化的な最低限度の生活とは程遠い生活を送っている」と訴え、「血も涙もない年金引き下げに、一審で憲法違反の判断を下さなかった裁判所に怒りを感じる。控訴審で

ケア労働者の増員を

愛労連が県・名古屋市に要請

愛知県労働組合総連合（愛労連）は10日、看護師や保育士、介護職員、学童指導員などの増員と大幅賃上げを



賃上げと大幅増員を求める書面を10日、愛知県庁

求めて県と名古屋市に要請を行いました。

県庁で会見した西尾美沙子議長は、コロナ禍でエッセンシャルワーカーの重要性が再認識される一方で医療・介護・保育などのケア労働は全産業平均と比べて賃金水準が低いと指摘。政府が行う賃上げ（介護・保育職月9千円、看護職月4千円）は低額で対象が限定され現場に行き届かないと批判し、専門性に見合った賃上げと大幅増員を行うよう求めました。

政府が行うケア労働者の賃上げについて県内の総合病院の看護師は、診療所や訪問看護

が対象外だと指摘し、「職場や条件で看護師を分断することなく看護師全体の賃上げを求めたい」と訴え。公立保育園の保育士は「職員はマスクを二重にするなど感染策をとり、

平日も休日も仕事を持ち帰って働いているにもかかわらず、県内の大半の公立保育園では賃上げされない」と告発。民間保育園の保育士は「そもそも全産業平均と8万円も差があ

り、あまりにも不十分だ」と批判しました。学童保育指導員は「10年仕事を続けてきたが手取りは20万円前後。9千円では貯金も大きくできず仕事を続けていけるか不安」、

障害福祉職場の職員は「基本給が低く、多くの職員は夜勤手当に依存せざるを得ない。低く抑えられてきたケア労働者の賃金を抜本的に引き上げる必要がある」と訴えました。

大幅賃金引き上げ ロシアの侵略反対

愛労連が春闘統一行動

「大幅賃金引き上げ、ロシアのウクライナ侵略反対」――2022春闘で愛労連と愛知春闘共闘は10日夜、大企業の集中回営をうけ、名古屋駅前で宣伝しました。

旗（青と黄色）の腕章を巻き、駅利用者にはビラ付きティッシュを配布しました。

西尾美沙子愛労連議長は「コロナ禍で非正規や女性労働者が厳しい生活を強いられている。医療や介護・保育

職場は人手不足、低賃金。大企業は466兆円もの内部留保をため込んでいる。内部留保

参加した組合員70人が「はきだせ内部留保」「ロシアは侵略やめよ」と書いたボードを掲げ、ウクライナ国

ウクライナ国旗の腕章をつけ訴える労働者10日、名古屋駅前



を大幅賃上げに活用こそ安心して働け、暮らす」と強調。「平和でらせる。ロシアは即時

撤退を」と訴えました。

各組合代表がマイク

を握り、「早朝から加

盟組合の病院前で宣伝

をおこない、出勤する

職員や通院患者に『す

べてのケア労働者に大

幅賃上げを』と訴え

た。多くの患者から

『コロナ禍で大変だが

私たちの命を守るため

がんばって』と激励を

受けた」（医労連）、「生

協はパートや非正規が

多い職場。最低賃金に

近い賃金で働いている

人が多い。最賃時給1

500円をめざし運動

する」（生協労連）と述

べました。

ピラを受け取った女

性（54）は「特養老人

ホームに勤めている。

低賃金、人手不足の中

で、コロナ対応で大

変。仕事に見合う賃金

にしてほしい」と話し

ました。

知事選まで1年

愛知・革新県政の会が交流会

県政転換へ連帯を

愛知県知事選まで1年を切る中、「革新県政の会」は15日、名古屋市熱田区で県政学習・各分野と地域の実態交流会を開催しました。オンラインも含め、25団体11地域52人が参加しました。

樽松佐一代表が「責任者が講演し、県政の課題点と『やさしく強い経済』への転換を力説。ここ30年間で一般病院、一般病床、保健所が激減、医師・看護師・保健師数やケアに関わる施設数が全国下位など、コロナ禍で県民に冷たい県政が浮き彫りになったと指摘し、『効率と利潤第一の新自由主義では、パンドラの箱が起きた時に県民の命と暮らしを守れないこと、経済にも大きな打撃を与える

ことが明らかになった」と強調しました。

県内のケア部門の賃金を全産業平均（約34万円）、男女の賃金格差是正、最低賃金1500円にするなど経済効果が高いと報告。燃料電池車への補助金やリニア中央新幹線建設など、環境破壊・浪費型の大型開発、大企業支援から転換し、県民の生活を支える「やさしく強い経済」、県民の命と平和を守る県政へと連帯を呼びかけました。

各分野・地域から7人が実態を報告しました。

県医労連の林信信副委員長は、県の看護師数は全国ワースト6

位、コロナ禍前から看護師不足が深刻だったと指摘。許めたい理由

1位の「人手不足で仕事がつきついで」を解消し、県民の命を守るためにも医療機関任せではなく、県政の柱に

「看護師確保対策」を

据えることが急務だと訴えました。

県原水協の大村義則代表理事は、ロシアがウクライナの原発と飛行場を占拠したこと

に、F35戦闘機の整備拠点を三菱重工小牧南工場は準軍事基地とされ狙われる危険があると指摘。スアルス性能や核爆弾搭載可能など「専守防衛」を超え

るF35配備は決して許されないと批判。「核兵器禁止条約への参加によって県民が平和で安全に暮らせると言及する『非核平和』宣言を知事に求め、非核平和を発信し続ける県民」と呼びかけました。

北設楽郡の救急・透析・入院を守る住民運動と町長リコール運動（東栄町の浅尾大輔さん）、中部国際空港2本目滑走路とカシノ、スーパーシティ問題（西本真樹・共産党常

滑市議）、気候危機と武豊火力発電所（武豊

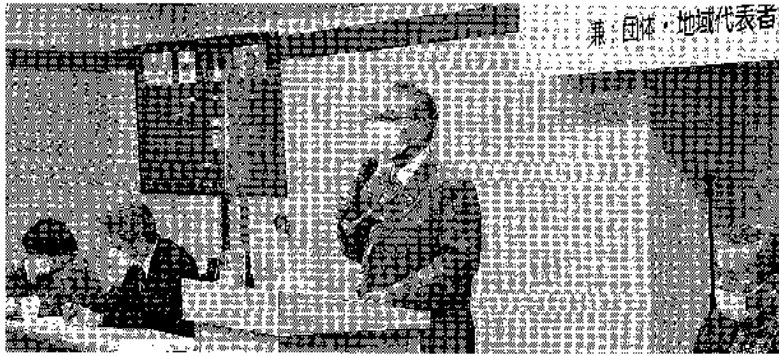
町の環境問題を考える会の大久保崇事務局

長、「県立高校再編将来構想」と県財政・統廃台ではなく少人数学級の充実を（愛高教の坂口敦副委員長、シ

ェンダー平等と女性労働者の差別的低賃金の解消を（愛労連の西尾美沙子議長）など報告されました。

県政の会の林達也事務局長が、知事選に向けた今後の取り組みを提案しました。

主催者あいさつする樽松氏
115日、名古屋市熱田区



県民要求を第一に

樽松佐一代表が「責任者が講演し、県政の課題点と『やさしく強い経済』への転換を力説。ここ30年間で一般病院、一般病床、保健所が激減、医師・看護師・保健師数やケアに関わる施設数が全国下位など、コロナ禍で県民に冷たい県政が浮き彫りになったと指摘し、『効率と利潤第一の新自由主義では、パンドラの箱が起きた時に県民の命と暮らしを守れないこと、経済にも大きな打撃を与える

ことが明らかになった」と強調しました。

県内のケア部門の賃金を全産業平均（約34万円）、男女の賃金格差是正、最低賃金1500円にするなど経済効果が高いと報告。燃料電池車への補助金やリニア中央新幹線建設など、環境破壊・浪費型の大型開発、大企業支援から転換し、県民の生活を支える「やさしく強い経済」、県民の命と平和を守る県政へと連帯を呼びかけました。

各分野・地域から7人が実態を報告しました。

県医労連の林信信副委員長は、県の看護師数は全国ワースト6

位、コロナ禍前から看護師不足が深刻だったと指摘。許めたい理由

1位の「人手不足で仕事がつきついで」を解消し、県民の命を守るためにも医療機関任せではなく、県政の柱に

「看護師確保対策」を

据えることが急務だと訴えました。

県原水協の大村義則代表理事は、ロシアがウクライナの原発と飛行場を占拠したこと

に、F35戦闘機の整備拠点を三菱重工小牧南工場は準軍事基地とされ狙われる危険があると指摘。スアルス性能や核爆弾搭載可能など「専守防衛」を超え

新社会人にエール



「働くあなたの権利手帳」を受け取る会社員―日、名古屋市中区

愛労連「権利手帳」配布し宣伝

愛労連（愛知県労働組合総連合）は名古屋市中区伏見のオフィス街で1日朝、フレッシュアーズ宣伝に取り組みました。寒の戻りで冷たいビル風が吹くなか、労組役員、事務局ら16人が参加。新入社員にエールを送り、「働くあなたの権利手帳」（全労連2022年版）とビラ入りティッシュを会社員らに配布しました。1時間の宣伝で約1000部配りました。

参加者のリレートークで竹内創・愛労連事務局長は、愛労連の労働相談について「セクハラやパワハラなどハラスメントの相談が最多」と紹介。1日から全企業が「ハラスメント対策義務化」の対象

「元気に働ける社会つくろう」

となり、ハラスメント相談窓口の設置が必須になったと強調し、「ゆたかに元気に働き続けられる職場環境をみんなで作っていかう」と訴えました。

坂口敦・愛高教書記長は権利手帳を紹介し、「私たちを守る労働法制を知ろう。手帳には関係法や相談窓口が書いてある。ぜひカバンに入れておいてください」。若井和則・県生協労連議長は「企業に対し、守るべき法律を守れとみんなで声をあげるのが労働組合の役割。ひとりぼっちにならず、やりがいをもって、長く元気に働き、暮らせる社会を力を合わせて実現しよう」と呼びかけました。

労働相談ホットラインは0120(378)060。祝祭日を除く月々金、午前9時半〜午後4時半。

愛知

教育2団体・卒業生ら県教委に

県立高 貴重な学びの場

統廃合やめよ5000超署名提出

愛知県立高校の「統廃合」や「学科再編」の撤回を求める署名5078人分が23日、県教育委員会に提出されました。署名をよびかけた「憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会」と愛知県高等学校教職員組合（愛高教）が県庁で記者会見し「子どもたちの学びの場を奪わないで」と訴えました。



会員を開き、県立高校統廃合撤回と少人数学級実現を求める人たちが23日、愛知県庁

署名の内容は①県が昨年12月に発表した「県立高等学校再編将来構想」の撤回②少人数学級実現などに向けた教育予算の大幅増③学校の「序列化」や企業が必要とする「人材づくり」につながる「学科再編」の中止の3点です。

「愛知の会」代表代行の大橋基博・名古屋造形大学特任教授は「県は密室でごく短時間のうちに、地域住民や学校関係者など当事者不在のまま構想を決めた。多くの県民に知ってもらい、問題が多い構想を撤回させていきたい」と語りました。

廃校の対象となつていく海翔高校（弥富市、2005年開校）の一期生の鈴木裕美さん（32）は「公立高校にはあまりない福祉料があり、設備もまだ新しい。廃校になれば、福祉を学びたい、地域で進学したいと願う生徒の将来を閉ざしてしまふ」と述べました。同校元教員の後藤静さんは「校舎は海抜ゼロ地域にあり、防災拠点としての役割を持ち、生徒も防災を学んでいる。地域とともにある学校であり、当事者不在のまま、廃校が進められるのは納得できない」と話しました。

介護職などの処遇
愛労連が改善訴え

県と名古屋市中

県労働組合総連合（愛労連）は、県と名古屋市中に対し、介護や障害福祉、保育、医療など暮らしの維持に欠かせない「エッセンシャルワーカー」の賃金引き上げなど処遇改善を要請した。西尾美沙子議長や医療福祉関係者らが県庁で会見し、「コロナ禍で働くエッセンシャルワーカーが安心して働けるようにしてほしい」と訴えた。

政府の緊急経済対策として、救急搬送が一定程度多い医療機関の看護師などは月額四千円、介護士や保育士など幼稚園教諭は月額九千円を増やすなどの措置を、二月から実施。ただ、施設や事業所、公立施設の場合には自治体が、それぞれ申請の手続きをしないと、処遇改善補助金は入らず、賃上げにはつながらない。西尾議長は県と市に「積極的に補助金の活用を」と求めた。

また、補助金の対象に限定条件があり、賃上げの対象外となる看護師や職員がいる点なども問題視。「全産業平均に比べ、エッセンシャルワーカーの賃金水準

がそもそも低い」として、さらなる賃金の引き上げも要請した。



県と名古屋市中にエッセンシャルワーカーの処遇改善を要請した愛労連の西尾議長ら＝県庁で

4月5日 中日新聞

「子どもの命守れない」

県内保育士らがアンケート

保育士の7割が「子どもとの関わりが十分にできない」と嘆き、8割が「災害時に子どもの命を守れない」と感じている。保育士らでつくる県内の組織が実施したアンケート調査で、国が定める保育士の配置基準を満たしていても人手が足りない保育現場の実態が浮かび上がった。保育士らは「今の基準を見直さなければ、子どもたちの安全は守れない」と訴えている。

【加藤沙波】

国が定める保育士の着いて保育ができ、配置基準は、0歳児3人も一人一人に目が届く人に対して1人▽1歳児3人も一人一人に目が届く人に対して1人▽2歳児6人に1人▽3歳児20人に1人▽4歳児5人に1人▽5歳児30人に1人という。基準は1948年

に定められ一部は見直されたが、4〜5歳児の基準は見直されておらず、1〜2歳児の基準も67年に見直されてから半世紀以上、変わっていない。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大による登園自粛で「少人数保育」を経験した保育士たちからは「落ち

人手不足 配置基準見直し求める



国の配置基準では人手が足りない保育現場の現状について会見する保育士ら—県庁で

思う場面」について聞くと、地震・火災など災害時(84%)▽防犯、散歩(いずれも60%)▽プールなど水遊び(58%)▽早朝夕刻時の保育(44%)——と続き、「災害時、3歳児20人を自分1人で避難させる自信がない」

「抱っこ、おんぶ、両手をつないでも守れるのは4人が限界」などの声があった。また、安全面に配慮するため、子どもの行動に制限をかけてしまうケースや汚物の片付け中に子ども同士けんかが始まり、けがをさせてしまった例なども報告されたという。

22日、県庁で記者会見した名古屋市の保育士(44)は「子どもたちは一人一人の思いやペー

スを大事にしたいし、保護者とも丁寧に関係作りをしていきたい。そのためにはあと1人、保育士を」と述べ、民間保育園の園長(55)は、現場の負担を軽減しようと基準以上の保育士を雇ったことで、赤字経営に陥った経験

を語った。また、別の園長(48)は4月に広島市内で保育中の男児(5)が園外で死亡した問題を挙げ「基準を満たしていても、命が失われてしまった。基準を抜本的に見直していかねばいけない」と力を込めた。

実行委は今後、配置基準の改善を国や自治体に求めていく方針。実行委メンバーで保育士の田境敦さん(35)は「常にギリギリの状態では、子どもの安全も保育士の健康も守れない」と話す。

みんなで要求実現へ

名古屋労組・市民が栄総行動



要求実現にむけデモ
行進する人たち 20
日、名古屋市中区

名古屋市中区で20日、第97回栄総行動が行われ、市内の労働組合や市民団体、争議団から約100人が参加し、集会・デモ・要請行動に取り組みました。

「一人では実現できない要求でも、みんなでいっしょにやれば実現できる」と1978年から続いている一日共闘の市民運動です。今年のメインスローガンは▽保健所を拡充し、医療従事者を守れ▽最低賃金は全国一律1500円▽公務員を増員して▽県立高校の統廃合はやめよなど9項目です。

名古屋市内5カ所の地下鉄駅前で早朝宣伝をおこない、昼休みには繁華街、官庁街などから3コースに分かれてデモ行進。中区・栄ひろばをめざして「コロナ解雇許すな」「中小企業守れ」「県立高校の統廃合やめよ」などどコールし、昼休み中の会社員らにアピールしました。

集結集会で寺西昭実行委員長があいさつし、「40年以上前から行動し、多くの争議解決と市民要求が実現した。一方で未解決の問題や課題も多く残っている。労働者、市民の要求実現に向け、粘り強く運動しよう」と述べました。

「働くものが働きやすい職場環境と市民共通の要求実現を求めて、広範な労働者・市民と共同・連帯し、要求実現の世論と運動を広げていきたい」との集会決議文を採択しました。

集会の前後に名古屋市、東海農政局、三菱電機名古屋製作所、中部電力など13団体へ要請を行いました。

ウクライナ侵略を許さない 愛知

愛知県では、県中央メーデーが名古屋市中村区で、地域メーデーが6市で開かれ、参加者は全体で1500人を超えました。

県中央メーデーには「ロシアのウクライナ侵略を許さない」「消費税引き下げ、大幅賃上げを」などと願いを込めたプラカードや横断幕を持った労働者ら800人が参加しました。

西尾美沙子・愛労連議長は、ロシアのウクライナ侵略は国連憲章違反、国際人道法違反で断じて許せないと強調。岸田内閣の医療・社会保障改悪をすすめ、不十分なコロナ対策や物価高騰対策を批判し、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」と呼びかけました。

医療、介護や保育などで働く人たち



訴えるエッセンシャルワーカーの人たち＝1日、名古屋市中村区

が人手不足、低賃金など職場の実態を報告し、職員増員、大幅賃上げを訴えました。

日本共産党の岩中正巳県委員長、本村伸子衆院議員、すやま初美県副委員長(参院愛知選挙区候補)らが参加。岩中氏は「政治転換に全力をあげる」と述べました。れいわ、社民党、新社会党、緑の党の代表もあいさつしました。

5月2日中日新聞

県中央メーデー
雨の中団結誓う
名古屋、行進は中止
県中央メーデーが1日、
名古屋市中村区の「キャナ



賃上げを訴えて氣勢を上げる参加者＝名古屋市中村区で

ルパークささしま」で開かれた。大粒の雨が降る中で労働者らが団結を強め、最低賃金の時給千五百円への引き上げや、社会保障の拡充などを求める宣言を採択した。

県労働組合総連合(愛労連)などをつくる実行委が開き、主催者発表で労組など県内二百五十団体から八百人が参加。特設ステージ前で団体ごとののぼりを掲げ、団体や政党の関係者が登壇してあいさつした。実行委の西尾美沙子委員長は「八時間働けば誰もが安心して暮らせる社会のため、団結を強めて頑張ろう」と

呼びかけた。

降雨でデモ行進は中止した。そのほか県内各地で、愛労連傘下の労組を中心とした各実行委による地域メーデー集会が開かれた。



労組委員長が施設運営会社を提訴

看護師不足常態化「組合弱体化狙う不当行為」

労働組合を結成した後、定年後の再雇用を拒否されたとして、有料老人ホーム「サニーライフ豊橋」(豊橋市向山町)で働いていた看護師の女性(7日、運営会社の川島コーポレーション(千葉県君津市))を相手取り、地位確認などを求める訴訟を名古屋地裁豊橋支部に起こした。

介護現場で働く人たちの力に

提訴後、豊橋市内で発見した原告の継続(こうけつ)多津子さん(65)は「同市は裁判によって、介護現場で働く人たちの力になりたい。会見する原告ら(豊橋市内で)

体交渉を行ってきた。継続さんが定年の65歳を迎えた昨年6月、会社は継続雇用を希望したが断られたという。

同社の全国の拠点では、昨年4月25日時点で65歳以上の約800人が就労しているという。継続さんは「看護師不足が常態化しているのに、採用されないのはおかしい」「組合の弱体化を狙った不当労働行為だ」と訴える。

川島コーポレーションは「訴状が届いていないので答えられない」としている。

労組を大切にしたい」と主張した。訴状や労組弁護団などによると、サニーライフ豊橋では2019年12月、従業員らが長時間労働の是正などを求めて労組を結成。継続さんが委員長に就き、同

名古屋・敬老パスに回数制限

撤回へ新署名運動

スタート集会開く

名古屋市で、河村たかし市長に対する「敬老パス」の利用回数の制限撤回を求める、新たな署名運動が始まりました。「敬老パス」と地域交通拡充で元氣な名古屋をつくる会」が7日に開いたスタート集会には、市民31人が参加しました。

「回するよう求める」もの。8月末を期限にしています。

り、増えている高齢独居者の社会的孤立を防ぐためにも社会参加が必要だと指摘。「回数制限は高齢者の健康増進、社会参加をそぐことになる」と強調しました。

主権者あいさつで小池田忠共同代表（大高南学区区政協力委員長）は、「病院や買い物などで1回乗り換えれば2カウント。早い人は半年間くらいで730回に達し、その後は多額の自己負担を強いられる。利用制限の撤回を求め、市内全域で署名を上げよう」と訴えました。

共同代表の早川純午医師が「高齢者の健康な暮らしと敬老パスの役割」について講演。高齢者社会を迎えて、外出は健康増進のために大切であ

敬老パスは、これまで名古屋市内在住の65歳以上の人で一定額の負担金を支払えば市営地下鉄・バスに何回でも乗れました。しかし今年2月から、私鉄への利用範囲拡大に合わせて年間730回までに利用が制限されました。

同会は昨年、回数制限の撤回を求める署名2万3460人分を河村市長

に「公約に責任をもち、さらに回数制限を撤

敬老パスの利用制限撤回を求め開かれた署名スタート集会。7日、名古屋市熱田区



命を守る人員増 看護の日に訴え

県医労連 栄でデモ

県医療介護福祉労働組合連合会（県医労連）などは「看護の日」の十二日、看護現場の人手不足解消を求めて、名古屋市中区栄周辺で集会やデモ行進をした。コロナ禍や超高齢化社会でも県民が安心して医療や介護を受けるには、現状の約二倍の看護職員が必要だと訴えた。

約三十人が参加。集会では病棟や外来診療の現場で働く看護師が一時の間を休めて患者に寄り添う看護をしたが、いつも現場は人手不足だなどと苦しい状況を語った。県医労連が目指す今後の看護体制の目標が発表され、看護師の休日確保や長時間労働の防止のために、現在約八万三千人

いる看護職員を十六万人程度にする必要があるとした。



看護師の人員増を求めてデモ行進する参加者（名古屋・栄で）

参加者は「看護師増やして！」などと書かれたプラカードや横断幕を掲げ、栄などを行進。処遇改善などを訴えた。

県医労連によると、県内の人口十万人当たりの看護職員は千九十八人で全国平均の千三百十人を下回り、全国の都道府県でワースト五位。十二日は、近代看護の祖とされる英国の看護師ナイチンゲールの誕生日であることにちなみ、「看護の日」になっている。

（今井智文）

5月18日 しんぶん赤旗

最賃全国一律
1500 円の実現を

愛労連が宣伝

愛労連（愛知県労働組合総連合）は14日、最低賃金全国一律1500円をめざし、名古屋市中区栄で「最賃スプリングアクション」を実施し、愛知最賃審議会（7月）で労働者が意見陳述できるよう宣伝しました。今年は愛知県最賃1000円以上（現在955円）をめざします。

竹内創事務局長は「日本は20年以上、労働者の実賃賃金があがらず、コロナ禍とともに

に燃料や物価の高騰が暮らしに追い打ちをかけている」と指摘。「先進国で日本だけが成長していない。どんな仕事でも8時間働けばまともに暮らせる賃金へ、みんなの力で変えていこう」と呼びかけました。

「最賃をいくらに引き上げたいか」のシールアンケートには23人が回答。「1000円」2人、「1200円」7人、「1500円」5人、「もっと高く」は9人でした。

派遣事務をしていた女性は「生活にはどうしてもお金が必要。自立もできない。同じ仕事なのに正社員と格差があった」。別の女性（70）は「まともに生活しようと思ったら1500円でも足りない。年金は下がるばかり。最賃ぐらいい上げてほしい」と話しました。「周りにも伝えたいので、チラシをください」と何枚か持ち帰る人もいました。

主要政党に「大幅賃上げ、処遇改善」を参院選公約にかかげるよう訴える人たち＝17日、愛知県庁



参院選公約に掲げるよう要請

ケア労働者の賃上げを

主要政党に愛労連

愛労連の加盟労働組合でつくる「エッセンシャルワーカーの大幅賃上げ・増員プロジェクト」は17日、ケア労働者アンケートの結果を発表し、主要政党に「すべてのケア労働者に大幅賃上げ、処遇改善」などを参院選公約に掲げるよう求めました。

アンケートは、愛労連加盟組織の看護師、介護士、保育士、学童保育指導員ら2680人が回答しました。

政府は2月に看護師（月額4000円）、介護士・保育

士など（月額9000円）を対象に賃上げ措置を実施。アンケートで「基本給や手当は上がるか」の問いに、「上がる」は全体で8%にすぎず、「上がらない」16%、「わからない」74%に上りました。「政府の賃上げ内容を知っているか」に「知っている」と答えたのはわずか8%でした。

「今の基本給に満足しているか」の質問には、「不満足」が77%で、多くの人が「生活実感から5万円以上不足している」と答えています。

自由記入欄には「身を危険にさらしながら、責任感を持

って働くには見合わない給料」、「きちんとした処遇がないと人手不足の悪循環」、「介護全体の賃金を見直してほしい」、「同じ職場でも仕事が違うと対象外になり、分断されている」など声が寄せられました。

愛知県庁で会見を開き、西尾美沙子・愛労連議長は「国が対象を限定して賃上げ措置を行ったものの、対象となつたケア労働者にも行き届いていない」と指摘。「長引くコロナ禍と物価高騰が追い打ちをかけている。すべてのケア労働者の処遇が改善されるよう、参議院選挙での公約や政策にいかし、力を尽くしてほしい」と呼びかけました。

最低賃金引き上げ 労働局などへ要請

愛労連

県労働組合総連合（愛労連）は、県内における最低賃金（最賃）を現行の九百五十五円から千円以上にすることを求める要請書を、愛知地方最低賃金審議会と愛知労働局へ提出した。

要請書では、最賃を早期に千五百円にするとともに、引き上げに当たり社会保険料の負担が増える中小



要請書を愛知労働局の担当者へ渡す西尾議長（左から2人目）ら。名古屋市中区の同局で

企業への財政支援も明記。県最低賃金専門部会の公開や労働者本人の意見陳述の場の設置を求めている。

愛労連の西尾美沙子議長らが六月三十日、愛知労働局賃金課を訪れ、担当者に要請書と九百三十四人分の署名を渡した。西尾議長は「物価の高騰が深刻になり、最賃の役割が重要になっている。何とか千円を実現してほしい」と話した。

本年度の最賃に関する議論は六月下旬に中央最低賃金審議会が始まり、七月に目安額を出す見通し。それを受け、各都道府県の審議会でも最賃額が検討される。

6月25日 しんぶん赤旗

物価に負けぬ賃上げ

最賃審前に愛労連が行動



最賃1500円を求める署名に応じる若者。23日、名古屋駅前

愛労連（愛知県労働組合総連合）は23日、愛知地方最低賃金審議会（7月1日）を前に、県の最賃（955円）を早期に1500円、今年は必ず1000円、今後は必ず1000円以上をめざす「最賃サマーアクション」に取り組みました。名古屋駅前に加齢労働者28人が参加し、リレートークやヒラ配り、シール投票を

実施。最賃1500円を求める署名に若者ら42人が応じました。

竹内創事務局長は「日本の経済や国民の暮らしを守っていくためにも、物価高騰に負けない思い切った賃上げが重要。参院選（7月10日投票）で各党が最賃引き上げを公約に掲げている。投票に行き、公約を実現させていこう」と呼びかけました。

生協労連県協議会の若井和則議長は「隣の最賃が低いことから県境では時給が低く、県内でも賃金格差ができています。人口流出を防ぐためにも、8時間働けば普通に暮らせる全国一律の最賃にしよう」と話しました。

署名に応じた大学3年生は「学生バイトは同じ仕事をしていても賃金が低い。納得できない」。別の学生は「時給1500円って高いと思ったけど、年収300万円いかないことを知って驚いた」と答えました。20代の男性は「仕事が見つからない。最賃引き上げだけでなく、雇用や支援制度も増やしてほしい」と語りました。

生活保護引き下げ「違法」

決定取り消し3件目

東京地裁判決

国が生活保護基準額を2013～15年に大幅に引き下げた改定は、生存権を保障した憲法25条に違反するなどとして、東京都内の受給者ら31人が生活保護費を減額した決定の取り消しなどを求めた訴訟の判決が24日、東京地裁であった。清水知憲子裁判長は「厚生労働相の判断に過誤、欠陥がある」と判断し、生活保護法に反するとして減額決定を取り消した。憲法判断はしなかった。

同種訴訟は29都道府県であり、判決は11件目。決定を取り消しは21年2月の大阪地裁、今年5月の熊本地裁に続いて3件目となった。

国は13～15年、生活保護費のうち、食費など日常生活に必要な費用にあたる「生活扶助」の基準額を改定。一般世帯の消費実態に

比べて高い基準だとし、物価の高騰があまり買わないテレビなどの高価な電化製品の価格下落が含まれ、物価の下落率に大きく影響したなど指摘した。そのうえで、厚労相のデフレ調整の判断の物価指数には、低収入の

デフレ調整手法再び問題視

「生活扶助」の支給額は、2013年から段階的に全体で6・5%（670億円）削減された。戦後最大の削減幅だった。このうち580億円分を削減する

根拠として厚生労働省が掲げた理由が、08～11年の物価下落率（4・78%）の反映（デフレ調整）だった。しかし、デフレ調整は、専

門家による社会保障審議会の部会では具体的に検討さ

れたことがなかった。

原告が勝訴した大阪、熊本、東京の3地裁判決はいずれも、このデフレ調整の算定方法などを問題視し、厚労相の判断の過程に誤りがあるなどとして、生活保護基準引き下げを違法と断じた。減額の最大の根拠が司法によって否定された形だ。

東京地裁判決は、下落率4・78%と導いた厚労省独

自の算定方法について、物価が下がったことで保護世帯の可処分所得が実質的にどれだけ増えたかを「正しく評価し得るものといえない」と指摘した。

生活保護基準引き下げの影響は制度を利用していない人にも及ぶ。その水準は、個人住民税の非課税限度額、最低賃金などにも直接、間接に波及する可能性があるから。影響の大きさ（編集委員・清川卓史）

さをふまれば、大阪、熊本、東京の3地裁で違法判決が出た意味は重い。

貧困問題に詳しい大阪公立大の五石敬路准教授は、「そもそも生活保護基準をどのような手続き、方法で決めるか、明確なルールがない。それが最大の問題ではないか。基準決定の手続きを透明化していく必要がある」と指摘している。



東京地裁での判決後、「勝訴」と書かれた紙を掲げる原告弁護団＝24日、東京都千代田区、村上友里撮影

生活保護生存訴訟「希望持てる」

名古屋で支援者総会
各地の原告団と交流

国が生活保護基準額を引き下げた改定は生存権を侵害しているとして、受給者らが取り消しを求めている裁判を支える「いのちのとりで裁判全国アクション」

の総会が二十五日、名古屋市熱田区の愛知労働会館で開かれた。

訴訟は二十九都道府県で提訴されている。二十四日



生活保護額の引き下げを求める訴訟の情報交換などをした総会＝名古屋市熱田区の愛知労働会館で

の東京地裁では、大阪地裁、熊本地裁に続く三件目の減額決定取り消しの判決が言い渡された。名古屋地裁では二〇二〇年六月に原告敗訴の判決が出て、控訴審が名古屋高裁で続いている。

総会では、事務局の田川英信さんが「熊本、東京と連続した取り消し判決が各地に大きな影響を与えることになる。名古屋地裁での敗訴からの二年間は苦しかったが、希望の持てる今日を迎えられて喜んでいる」とあいさつした。

優生保護法訴訟の兵庫弁護士団長を務めた藤原精吾弁護士による記念講演もあった。藤原弁護士は優生保護と生活保護の裁判には共通点があり、人の価値は障害や生産性の有無では区別できないなどと訴えた。

総会では各地の原告団とオンラインでつないで情報を交換した。会場とオンラインで計百八十一人が参加した。
(斉藤和音)

